

# 第三章 療養所内の整備



工事中の浪花道路

(1936年、愛生自治会蔵)

瀬戸内の島への療養所建設は、まさに何一つないところから開始された。山を穿ち、平地をならし、道を造り、石垣を築き、住居を建てるといった各種工事の連続であった。もちろんすぐに諸施設が完成したわけではなく、数カ年にわたって土木・建築工事が継続されていったのである。病院施設はもとより入所者と職員のための住居の建設、さらに島内道路や給水施設の建設も急がれた。つづいて、大問題となったのは、開所数年にして定員をかなり超過した入所者のため、さらなる施設の拡張が求められたことである。とくに住居の確保・建設問題についての対処は急務となった。ここで特徴的だったことは、全国の支援者からの出資・支援によるいわゆる「十坪住宅」の建設が推進されたことである。本章には、こうした愛生園・光明園の諸施設整備の様子をうかがうことのできる資料を選定・収録した。

**諸施設の整備** 本章一節では、建設のつち音響く当時の様子<sup>とつぽ</sup>を物語る資料をはじめ、数百人から千人を超える人々の暮らしにとって、最も重要な水の供給問題、それに朝な夕な島内はもとより内海まで響き渡って、入所者はもとより人々の気持ち<sup>めぐみ</sup>を和ませた、「恵の鐘」建設にかかわる資料を選定・収録した。

まず、愛生園では入所者たちが詠んだ建設に関わる俳句・短歌を収録した。これらは、住宅建設に往復するトロッコ、響き渡る鉄槌の音、各地で進む建設工事の状況を詠んでいて、いずれも新しく建設される療養所内施設整備への想いがうかがえるものである。なお「虫明まで橋掛ける」という言葉には、一九八八年（昭和六三）の邑久長島大橋の開通に至るまでの、隔離の身を島に置く入所者にとっての念願が表現されている。また、当時の新聞は、八百九十名定員が千二百余名にのぼった超満員状態解消のため、国からの拡張費増額がかなって、拡張工事中と伝えている。

一方で、皇室からはハンセン病患者への保護・援助の手が差し伸べられている。なかでも貞明皇后よりの下賜金をもとに建設された恩賜寮は、施設整備におけるその代表例の一つである。これは長島愛生園慰安会の手による直営工事として進められ、完成の後は療養所内女子寮として使用された。現在は、来園者のための宿泊施設として利用され親しまれている。次に、光明園の施設整備については、「工事概要」によって園内各施設整備の経緯を示した。これによると、建物・給水その他の施設整備が、第一期・第二期・第三期工事に分割して進められていく、整備の具体的な進捗ぶりをうかがうこ

とができる。

また、一朗（久保田）道路と呼ばれる道路建設、及び気象観測所、光明園展望台などについての関係資料も収録した。

**上水道の整備** 次に、入所者などの飲料及び園内施設で使用する水の確保の問題である。愛生園建設当初は島内での確保を考えていたが、調査の結果島外からの送水に頼らざるをえないことが分かった。そこで、県東部の大川である吉井川からの送水を計画した。ところが、関係町村の用水組合から、干ばつ時における用水確保上の問題が提起され、水源地の位置について再考を余儀なくされることになった。以後、周辺各地での候補地検討を経て、結局は豊原（現瀬戸内市豊原）に掘削した井戸からの送水に決定した。こうした経緯と送水にまつわることがらを、当時の新聞記事によって示した。なお、光明園への給水は当初から愛生園施設を共同使用することになり、愛生園給水設備の拡張などの工事を行って確保している。

**恵の鐘** 朝な夕な療養所内に響き渡る「恵の鐘」の音は、昔も今も入所者をはじめとする人々の心にしみこんでいる。貞明皇后から寄せられた御歌「つれつれの友となりても慰めよゆくことかたき我にかはりて」に感激した入所者と職員と

は、この歌を鑄込んだ梵鐘の製作を計画した。このことを知った京都西本願寺裏方からも基金が寄せられた。工事は主に入所者などの奉仕作業で続けられた。そして、愛生園開園五周年に当たる一九三五年（昭和一〇）十一月二十日に撞初式とうしよが行われた。この撞初式については、NHK岡山放送局の手によって、ラジオによる全国への生中継が行われたことが特筆される。つまり、瀬戸内の小島の療養所から、まさに全国の各家庭に直接その様子が放送されたわけで、当時のハンセン病に対する「皇室の御仁慈」を伝え、さらには人々の理解と同情とを深めることに寄与しようとする姿勢がうかがえるのである。また、当日は地元裳掛村（現瀬戸内市邑久町）から余興団が繰り込み、岡山から参加した芸者たちは義太夫・手踊りなどを披露し、祝賀気分を大いに盛り上げている。

**住宅の不足と十坪住宅** 長島愛生園の開園、無らい県運動の展開の中で、隔離される入所者が急増した。開園四カ月の八月五日で入所者は当時の定員四〇〇人を超過するという予想を上回る速さであった。国の増床計画の実現まで待つことは、絶対隔離論者である園長光田健輔にとっては放置できないことであった。考案者光田の十坪住宅運動の回顧によると、定員超過の解決策として一九三一年（昭和六）十一月から第

一期（昭和六〇九年）の十坪住宅運動を開始したとしている。

定員超過の実態と国の予算が容易には期待できないことを背景に考案された十坪住宅運動は、建設資金を民間の寄付に求め、入所者の作業によって六畳二間の十坪住宅を建築し、建築後は国庫に寄付して経常費の支出を受けるというものである。『愛生パンフレット第三輯十坪住宅』によると、「簡易な住宅を療養所に建てる運動」であり、「その資金は社会の同情に依り、その建築は入園者たる大工・左官等の奉仕による」としている。このパンフレットは十坪住宅運動推進に大きな役割を果たしたが、その内容は患者収容に当たって長島愛生園を絶好の療養所と宣伝するために作成された『愛生パンフレット第四輯長島案内』とともに、園内の苛酷な実態とは大きく乖離したものであった。

昭和九年の「患者記録票」に収録されている「一人一題最近の愛生園」には、当時の入所者の本意が綴られている。定員超過による悲惨な住宅事情が食糧事情、治療の実態とともに訴えられていて、運動が展開され次々と十坪住宅が建設されてもなお入所者が苛酷な住宅事情に置かれていたことが分かる。

寄せられる寄付 十坪住宅運動は医療救済運動として国民

的広がりを見せ、一九四三年（昭和一八）九月末までに一四九棟が建築された。これにより、国は建築費の支出を免れ、定員の増加を既成事実として押し付けたのである。

この十坪住宅運動は無らい県運動と表裏一体となって推進され、ハンセン病に対する偏見・差別が作り出され助長されていったうえで、重要な意義をもった。『愛生パンフレット第三輯十坪住宅』に「十坪住宅運動に参加せよ」として、「もしそれ市井の駄菓子屋・飲食店に癩者により経営さる、实例を知るに及んでは、愕然として驚かる、に違ひない。見えざる危険の手は伸びている。先づ足下の癩を潔めよ。諸氏の市邑の癩者をして療養所に入らしむべく十坪住宅の運動に参加せられんことを望む」としており、強制的な収容が自宅で療養している者にも向けられ、一家離散や自殺などの数々の悲劇を生むことにもなった。十坪住宅のパンフレットでも、ハンセン病は国際的に恥じる病気、恐ろしい伝染病として宣伝された。このことによって偏見・差別が生成し、助長されていった。そして、ハンセン病者を社会から孤立させ、隔離政策が実行されていったのである。

『小島の春』の読者の手紙からは、小川正子の著書もまた絶対隔離を推し進める役割を果たしたことが読み取れる。ま

た、そこでは読者の同情が、小川や光田に向けられていることも見落してはならない。光田は「皇紀二千六百年を期して一万人収容」を目指し、「皇恩」への感謝と国家・社会・民族の「浄化」で十坪住宅運動に無らい県運動の論理を貫徹させたのである。

十坪住宅運動は、一九三一年（昭和六）～一九三四年（昭和九）までの第一期、一九三五年（昭和一〇）～一九三七年（昭和一二）までの第二期、一九三八年（昭和一三）～一九四三年（昭和一八）までの三期に分けられる。

資料二六五によると昭和六年から十八年までの十三年間で愛生園慰安会が受けた献金総額は二四万七〇〇七円となり、十坪住宅が建設され国に納付された。資料二八八によって十坪住宅寄附状況の一覧を見ることができる。こうした十坪住宅寄付によって、入所者の約三分の二が十坪住宅に居住することになった。

こうして愛生園では十坪住宅運動にともなって収容の拡大が図られ、一九四三年（昭和一八）八月には、入所者は二千人を超えるまでになった。

寄付は、個人のみならず学校、婦人団体、各県の救らい協会、宗教団体等さまざまな方面に広がり集められた。寄付金

は、一戸をそっくり寄付した人も少なくなかったが、何万枚と配られた一口一〇銭の「同胞の家」愛生献金袋による少額の寄付金も多かった。入所者が自ら住宅の建設資金を寄付して入所した例もある。

岡山県では済世会が十坪住宅運動に積極的に関与したことも資料で明らかとなった。

十坪住宅の名称は「建設寄附団体又は個人名を家の名称として永久に記念し且つ本運動の促進に資す」とし、たとえば寄付者を称揚する命名がなされた。池内謙次郎史料により愛生園における十坪住宅の全体像を知ることができる。

光明園は一九四一年（昭和一六）に国立に移管されて、二府十県以外からの収容が、管理者である大阪府知事の許可を必要としなくなったことにより収容余力がなくなってきた。このため、園長神宮良一は光明園においても十坪住宅運動が必要であると主張しているが、実現するにはいたらなかった。

## 第一節 施設の整備

### 1 療養所内の施設

#### 二三〇 建設のつち音

(愛生園蔵「患者記録票(二人一題「最近の愛生園」)昭和9年)

俳句 秋 小住宅の敷地に汗だく々々の人々を見て  
〔ママ〕

建設に押すトロッコや島の秋

短歌

岩くだき山をうがちて切り拓き悩める病友をいざやむかえん

〔ママ〕  
逝く秋に拓き行く島の朝空に鉄槌の音すみてひっこふ

病室の裏手の丘ゆ新らしく住家建つらしき工事始まる

陸路開けよ果樹まで自動車吹つ飛ばせ虫明まで橋掛ける

つぎつぎに山を拓きて新らしき十坪の住家の建てられにけり  
イヘ

#### 二三一 拡張工事

〔山陽新報〕昭和11年10月9日夕刊

長島愛生園 拡張工事着手

拡張費十万円

岡山県邑久郡裳掛村国立癩療養所愛生園では、現在八百九十名の定員に対して千二百余名といふ超満員の収容に、加ふるに入園者は逐日増加の状況にあるので、かねて本年の臨時議事に於て拡張費十万円の増額により、設計その他の準備を進めてゐたが、病舎は去る五日から、また事務所は六日から、何れも拡張工事に着工して施工中である

#### 二三二 恩賜寮建設

〔山陽新報〕昭和11年7月22日

長島愛生園に「恩賜寮」建設

皇太后殿下の御下賜金で 処女患者のみ収容

国立癩療養所、岡山県邑久郡裳掛村、長島愛生園では昨年十一月畏くも皇太后陛下から賜った金五千元で、「恩賜寮」を建設すべくかねて設計中であつたが、過般出来上つたので御下賜金に更に特志寄附金を加へた工費七千余円で、患者の奉仕作業により昨今敷地整地工事を大車輪で進めてゐる

恩賜寮は純日本建築を主に、スパニッシュを加味した鉄筋コンクリートの補強、石造及び木造の二階建てで、屋根は褪綠色で瓦葺であるが、二階は病室として十二畳四室と十五畳一室を作り、これに附属して内外玄関、食堂兼娯楽室、台所、洗面所、洗濯所などを完備して患者も純真と清廉のほこりをもつ処女のみを収容する

また一階は地下室で厨房に充て、二階に収容した処女患者が材料も園内で作った各種農産品を利用して、最も滋養に富んだ日々の料理を作つて重病患者の食膳をかざらうといふことになつてゐる

### 二三三 恩賜寮落成顛末

(愛生編集部蔵『愛生』第七卷第六号 昭和12年)

#### 恩賜寮落成顛末

今回竣工を見たる「恩賜寮」は、昭和十年十一月十日

皇太后陛下御下賜金五千元を基とし、之に昭和十年九月二十二日時の皇太后宮大夫入江子爵御来園の際、御下賜の職員に対する百円、患者に対する五百円、計六百円の御菓子料と、職員有志より醸出せる千弍百拾弍円七拾壹錢、入園患者より金五円及財団法人長島愛生園慰安会より金五百四拾六円弍拾

壹錢、合計金七千參百六拾參円九拾弍錢を以て建設したるものなり。

畏くも 皇太后陛下が悲惨なる癩患者の為に常に御軫念あらせられ、或は全国各療養所の患者・職員に金品を下賜せられ、或は「癩患者を慰めて」なる御兼題の下に御歌を賜ひ、或は又官公立癩療養所長に謁を賜ふ等、数々の恩寵を忝ふせり。特に本園に対しては昭和七年十一月十日多額の御手許金を賜ひ、昭和九年五月二十八日には赤坂離宮に実生せる楓の苗を賜ひ、昭和十年九月二十二日には前陳の如く、皇太后宮大夫を差遣せらるゝ等、渥き思召を垂れ給へり。洵に恐懼感激の至りに堪えず。

而して昭和十年の御下賜金五千元は、療養所施設の改善・拡充の資に充つべしとの御内意を拝し、慎重考慮の結果、患者住宅建設の事に決し、財団法人長島愛生園慰安会の直営工事として直に設計着手、構内中枢の地を相し、昭和十一年七月九日起工、同年十二月二十日上棟式を挙行し、茲に楓苗御下賜記念日たる本日之が落成を見るに至れり。

建物は鉄筋コンクリート補強石造及木造二階建、総坪数八拾壹坪一合八勺にして、階下(拾九坪七合弍勺)は重病者滋養食厨房に充て、階上(六拾壹坪四合六勺)を五室に分ち、

処女の居室に供す。

恩賜寮建設の経緯大略叙上の如し。本日国幣中社安仁神社神官を聘し、岡山市内の貴婦人多数の来臨を得て、之が落成式及同祝賀式を挙行するを得たるは、不肖の最も光栄且欣快に堪えざるところなり。

今後此の恩賜寮を救癩の本拠とし、普く病める同胞を迎へ全園を挙げて国民浄化に努め、以て 皇太后陛下御鴻恩の万一に副ひ奉らむとす。

昭和十二年五月二十八日 長島愛生園長 光田健輔

## 二三四 恩賜寮工事報告

(愛生編集部蔵『愛生』第七卷第六号 昭和12年)

### 恩賜寮工事報告

長島ノ地ニ永久ニ記念ス可キ建築物ハ、曩ニ納骨堂、恵ノ鐘、長島神社ト次々ニ建設セラレ、本日亦恩賜寮ノ竣工ヲ見テ、茲ニ工事ノ報告ヲ為スハ私ノ最モ光栄ト致シ、欣快ニ堪エザル処ナリ。昭和十年十一月十日畏クモ 皇太后陛下ニハ本園入園者ノ為ノ寮舎並ニ諸設備ノ充実ノ御趣意ノ許ニ、金五円ヲ御下賜アラセラレ、本園ニ於テハ早速 陛下ノ御心ニコタエ奉ル可ク協議ノ結果、特ニ処女寮建設ヲ目指シテ計

画ヲ進メタリ。然シテ昭和十一年二月二十五日試案ノ決定ヲミ、此ノ結果昭和十年九月二十二日時ノ皇太后宮大夫入江閣下御来園ノ砌 皇太后陛下ヨリ入園者ニ金五百円、職員ニ金壹百円ノ御菓子料ヲ拝戴シタルモノト、入園者ノ指定寄附金五円、是ニ加フルニ職員有志寄附金壹仟貳百拾貳円七拾壹銭、総計金六仟八百拾七円七拾壹銭ヲ基金トシ、建築工事、電灯工事、水道工事、給汽工事等一式総予算金額七仟貳百円ニテ、不足額ハ長島愛生園一般ニテ充当ス可ク決定ヲ見タリ。

本寮舎ハ二階ヲ患者住宅、一階ヲ主トシテ重病患者ノ為ノ特別厨房建設ノ目的ヲ以テ本設計ニ着手シ、建設様式ハ古典味ヲ加エタル新日本式トシ、建坪拾九坪七合式勺、二階六拾壹坪四合六勺、延坪八拾壹坪壹合八勺ニシテ、構造主体ハ鉄筋混凝土補強石造及木造二階建トセリ。同年六月二十四日全部ノ設計ヲ竣工、長島愛生園慰安会直営工事トシ七月九日工ヲ起シ、同年十二月二十日上棟式ヲ挙ゲ、昭和十二年五月二十七日竣工セルモノナリ。

此ノ間要シタル延日数三百二十二日ニシテ、本工事ニ従事シタルモノハ、入園者奉仕作業人員延一千二百六十四人、整地工事及前面道路移転ニ測量部員延六十人、土工部員延八百七十五人、寮舎建築ニ石工部員四千六百四十七人五分、患者

作業ハ実ニ延人員五阡五百八十二人五分也。此ノ外ニ健康者各職延人員一千八百六十九人二分七厘五毛、総計七千四百五十一人七分七厘五毛ヲ要シ、之ガ総工費七千參百六拾參円九拾式錢ナリ。

本設計ニ当リテハ、当初ヨリ微細ナル幾多ノ手法ヲ工夫シ、是ガ完成ニ全力ヲ傾注シタルモ、物価高騰ノ余波ヲ受ケ、技術者トシテ意ノ如クナラザリシヲ遺憾ニ思フモノナリ。

幸ヒ園長初メ関係者一同ノ御同情ト御助力ニヨリ、本日アルヲ得タルハ各位一同ト共ニ懐欣ニ堪エズ。

昭和十二年五月二十八日

長島愛生園 営繕部、電気部、水道部

工事関係者代表 行光若一

### 二三五 愛生園に新観測所

〔合同新聞〕昭和12年5月28日

無名子選ばれて一

魔海・気象の守り

岡山測候所長から折紙付

愛生園に新観測所

宿命の彼方へ

本年三月中旬ころから蔵重岡山測候所長宛に、癩療養所岡山県邑久郡裳掛村長島愛生園から、数回に亙って同島を中心にした気温、湿度等の詳細な観測記録が送り届けられ、これが相当示唆に富んだものであるため、二十五日蔵重所長はこの無名気象観測家を、愛生園病舎に訪問して親しく会談したところ、専門家にも劣らぬ気象知識を有してをり、所長に送り届けられた観測記録の如きも、島内に設置されてゐる貧弱な一基の百葉箱（四種類の寒暖計を備へた観測塔）のみによつて作られたもので、十分な設備さへあれば瀬戸内海の魔所播磨灘の気象も十分に観測出来、みどり丸事件を始め幾多の惨事を生んだ魔海も征服出来るので、蔵重所長は愛生園当局と協議の結果、この無名観測家のために島内に観測所を設置、岡山測候所から風力計、雨量計、日照計その他必要な器具を送つて、岡山測候所と連絡して、より完全な観測を依頼することになったが、このため運命の病魔に押し伏せられた失意の無名観測家は、大自然の脅威と戦ふことによつて新生することになった、右につき蔵重岡山測候所長は語る

素人である上あんな貧弱な器械であれだけの観測が出来たことは敬服します、長島の附近は南東に播磨灘を控へてゐるので、予て観測所の必要を痛感してゐたところなので大

変好都合だと思ひます、このため播磨灘を中心にした海の  
 惨事が防げ、その上あの悲惨な病者が更生してもらへると  
 したら一挙兩得と言ふものでせう

## 二三六 久保田道路開通

〔合同新聞〕昭和13年10月21日夕刊

愛生園の「了海」

道路開通に織る美談

岡山県長島愛生園では、二十日午後一時光田園長以下職員並  
 に患者等参列のもとに、同園内十坪住宅地に建設中であつた  
 西大寺鉄道株式会社の寄附（二千五百円）にかゝる西大寺寮  
 （建坪二十五坪）、山口県下警察官及び学生生徒の寄附（一千  
 五百五円）による防長寮（十七坪）、同下関寮（千円、建坪  
 十一坪）の新築三病棟の竣工式と、十坪住宅地より児童病棟  
 に至る約五町余の改良田改築道路の開通式を挙行したが、こ  
 れには隠れたる美談が織込まれてゐる

今から四年前、岡山県工業学校吉田教諭と生徒十名の一行  
 が同園を訪ひ、同道路予定線を測量したことがあつたが、  
 以来これが建設開鑿の鍮の音を聞くこともなく打過ぎた  
 が、これを遺憾に思つた元土木業で半島出身の、同園患者

久保田一郎氏が「恩讐の彼方」の了海和尚そのまゝに、道  
 路開鑿の悲願を立て営々として鑿をとり、これに感激した  
 患者等の勤勞奉仕によつてこの程遂に完成したもので、久  
 保田氏はその開通の最後の鑿を打つと共に病と疲労のため  
 殞れ重症であるが、同園患者等は彼こそ正に「昭和の了海」  
 だと、患者一同感激してゐる

## 二三七 光明園工事概要

〔光明園蔵「工事概要」昭和13年〕

〔表紙〕

昭和十三年四月二十七日落成

### 工 事 概 要

第三区府県立癩療養所

光 明 園

岡山県邑久郡裳掛村虫明  
 電話 虫明 二七番

〔所在図・建物配置図 略〕

工 事 概 況

一、位 置

本園の位置は岡山市を隔つること東方約九里、岡山県邑久郡裳掛村字虫明海岸に接する、瀬戸内海中の島嶼長島の西端にあつて風光明媚の所である。

一、敷 地

島 内 敷 地 一四一、五七八坪三合六勺

島外上水道濾過池敷地 五八一坪

本園の敷地は内務省所管国有地、農林省所管国有山林及民有地の一部たりしが、内務省所管国有地は、昭和十年九月一日無償使用契約を締結し、農林省所管国有山林は同年九月三日無償使用契約を締結、其後必要に応じ保安林の解除或は山林の払下を受け、又た民有地は全部買収し居住民は島外に移住せしめたり。

一、土 木 工 事

本敷地の地勢は概ね山地にして平地なく、病者の病症上之が建物の配置は平坦なる地を最適とするに依り、病舎及診療方面主要建物大部分の敷地として、建築費と附帯設備費とを軽減する為め、最大標高三十八米の山地を十米乃至十三米の切取及び同敷地工事を、昭和十一年二月十二日より着工し約二万五千坪の平地を得、引続き各通

路開設整理に当り、続いて同年十一月十日官舎敷地の整地工事を施行、同十二年五月三十一日終了せり。

一、建 築 工 事

建築工事は委託患者の引取及新患者を多少とも至急收容する予定の下に、先づ五百人收容の患者居室及診療方面主要建物の大部分を第一期工事として施行する事となり、昭和十二年三月十八日之が工事に着手し、本年四月二十五日其の竣工を見るに至れり。又た第二期工事は本年二月一日工を起し八月二十九日竣工の予定、次ぎに第三期工事は十三年四月下旬着手十四年二月末日完成の予定なり。

先づ建築物の配置に付ては收容患者の便に供せんが為め、常に交渉ある主要附属建物を有毒無毒の境界線に配し、又た其の境界を判然ならしむる事に特に留意せり。尚ほ有毒地内建築物は前記附属建物との連絡關係に意を用ひ、夫々適所に配置せり。病者の居室は不自由者の關係を特に考慮し、附属建物に接近して不自由者居室を配置し、軽症者居室を其の周囲部の位置に配する事とせり。男女或は不自由者及兒童の居室割合は、従来本園に收容したる患者の割合を、統計上より算出し各其の棟数を定

めたり。

- 一、第一期工事建物面積 一〇、〇一八平方メートル二二五  
 一、同 棟 数 五一棟  
 一、同 内 訳

(一) 医務室及消毒室 木造平家建一棟

五四四平方メートル八五

医員室、看護員室、看護婦作業室、写真室、医員宿直室、調剤員宿直室、看護員宿直室、看護婦宿直室、調剤員室、調剤室、製剤室、製煉室、排気室、薬品庫、薬局附属洗場、小使室、洗面所、便所、消毒室、更衣室二、男女浴室、洗濯室、夜間診療受附室、洗濯物整理室

此の建物は有毒無毒の境界線に設置し、医員、調剤員、看護員の連絡関係を考慮したるは勿論、伝染病院の特質上其の有毒地に接する所には、消毒室を配し外来者及職員の出入に対し其の消毒を厳になし得る様特に留意したり。

(二) 治療室 木造平家建一棟 五二四平方メートル〇七

内科診察室、浴治療室、光線治療室、レントゲン室、同暗室、外科処置室、同手術室、眼科診察室、同手

術室、同暗室、同罨法室、注射室、耳鼻科診察室、

同手術室、婦人科診察室二、歯科治療室、同技工室、調剤室、治療材料室、患者受附室、看護婦室、患者待合室二、便所二

治療室は浴室、繃帯交換場に連絡し、順序よく診療をなし得る様各室の配置大きさ等を考慮し、設備は夫々実際に適合することに努めたり。

(三) 重病室 木造平家建三棟 一棟四三〇平方メートル九二

一棟之内容

病室四、看護員二、洗面所二、浴室、物置、便所  
 病室は一室の定員八人にして一棟の收容人員は三十二人なり。病室と病室との間に看護員室を設け容易に両室を看取し得る様にしたり。

本病室は相当長期間入室する者多きを以て通風、採光、暖房等の設備に特に留意したり。

(四) 重病室附属倉庫 木造平家建三棟

一棟一六平方メートル

(五) 軽症者繃帯交換場 木造平家建一棟

材料交付場、看護員詰所、看護助手詰所、繃帯交換  
 一六二平方メートル

場

清潔にして使用上能率よくなしたり。

(六) 軽症者浴場 木造平家建一棟 二五〇平方米

男子脱衣室、同浴室、女子脱衣室、同浴室、理髪室

本浴場の大きさは軽症患者七百人を、治療時間前二時間以内に入浴せしむる方針の下に計画し、尚ほ男女浴室共薬浴槽を設備す、男子浴室には別に作業用浴槽を設備したるが、之は軽症者中土木等の作業に従事する少数者入浴せしむる為に特に設置したるものにして、燃料及び浄水の消費節約を計らんが為なり。

(七) 不自由者浴場及繙帯交換場 木造平家建一棟

二六七平方米三

本浴場は盲目者及手足の不自由なる者を静肅に入浴せしむる為め、特に軽症者と分離して設置したるものなり、室の配置は脱衣、入浴、繙帯交換等を順序よくなす為め出入口の位置等にも注意したり。

(八) 事務分室 木造平家建一棟 七五平方米八一

事務室、宿直室、消毒室、職員患者面会室、患者控室

本建物は入園者と事務上一切の交渉をなす所にして、

患者の便に使用する為本館の分室として設置せるものなり。

(九) 炊事室 木造平家建一棟 二四三平方米

炊事室、同事務室、食器消毒室、炊事夫更衣室、食料品小出庫

炊事室内には蒸気二重釜四斗炊き七台、及び一石五斗入蒸気湯沸器等を設備し、収容患者全部の賄を短時間に於て為し得る下に設計したり。尚ほ周囲には網戸を取付け蠅の進入を防ぎ、床はタイル敷きとなし其他給排水、洗滌、消毒等の設備に留意して衛生の完璧を期したり。

(十) 機関室 鉄骨造一棟 二九一平方米六

汽缶室、変電室、工作室、工務員室、宿直室、消化ポンプ室

汽缶室にはランカシアー型ボイラー直径七呎長さ三〇呎一基、及直径六呎長さ二二呎一基の二汽缶を設備し、構内全部の各所蒸気設備、浴場、煖房施設等に給蒸気するものとする。

電気は山陽中央水電株式会社の電力供給を受け、此の変電室に於て変圧をなし各系統別に本室より配線し、

尚ほ電灯は昼夜間線、夜間線、終夜間線等に分ち、時間的に主要なる操作をなし統制あらしむると共に、電力の経済を計ることに留意せり。

尚ほ消化ポンプ室は工務員室及び宿直員室に接し、非常の際に備ふる等本室は附帯設備一切の機関たらしむるものとす。

(十二) 洗濯室 木造平家建一棟 二〇七平方米三六

洗濯室、洗濯物整理作業室、縋帯ガーゼ取捌室

本室は患者の衣類及び縋帯ガーゼを洗濯する所にして、洗濯機、脱水機、糊付器、煮沸釜等の諸器具を設備し、衛と能率<sup>〔生欠丸〕</sup>の増進を計り、尚ほ室内に乾燥室を設け雨天の際の洗濯物乾燥に便すること、せり。

(十三) 解剖室及告別式場 木造平家建一棟

一〇四平方米六九

解剖室、告別式場(二十五畳敷)、洗面所、便所

本園に於て死亡したる者の遺骸は、大部分遺言に依り病理其他の研究の爲め解剖に付するを以て、其の連絡を考慮し告別式場と同一棟にせり。

告別式場は内外共其の建築様式に寺院風を加味す、又た解剖室には夏季死体の腐敗を防ぐ装置を設備せり。

(十三) 物品配給所売店、患者事務所 木造平家建一棟

一八〇平方米五

物品配給所、同物置、売店、同物置、患者待合室、

患者事務室二

本建物は連絡関係を考慮し一棟とせり。

位置は各病舎よりなるべく都合よき処に置きたり。

(十四) 予診室 木造平家建一棟 一一六平方米四二二五

男患者室、女患者室、診察室、看護員室、浴室、洗面所、便所

本建物は新たに入所する患者を一週間以内起居せしめ、諸般の観察をなす必要上一般患者とは別に診察室及浴室を設備せり。

(十五) 男子軽症舎 木造平家建五棟

一棟二一九平方米三〇七五

(一棟ノ内訳) 患者居室(十五畳敷) 四、洗面所、

洗場、便所、物置各二ヶ所

各二室の中央部に玄関を設け、洗面所及便所は各棟の両端に設置せり、一室内には四間の押入を設け、患者の所持品及夜具等の整理に充分ならしむること、せり。又た室毎に床及肘掛窓を設け、患者の気分を明朗

ならしむることに留意せり。

一〇〇平方米四四

(十六) 不自由舎 木造平家建一一棟

一棟二五九平方米九二

本倉庫は患者使用の引上物品を、再使用迄一時有毒地域に置くために設けたるものなり。

本舎は前記の不自由者を收容する所にして、男子軽症

(廿二) 火葬場 木造平家建一棟 四八平方米六

舎と異なるところは、室前に巾六尺の廊下を設け、サ

竈は重油竈を整備せり。

ンルームの用に供すること、せり。

(廿三) 判任宅舎 木造平家建一〇棟

又た洗面所及便所は二室の中央部に設け、不自由者の

一棟七四平方米九〇七五

使用に特に便ならしむる様になせり。

一、第二期工事建物延面積

(十七) 炊事夫宿直室 木造平家建一棟

三五平方米一九七五

一、同 総 棟 数 二七棟

炊事作業時間の関係上炊事場の近くに之を設けたり。

一、同 内 訳

雑品倉庫 木造平家建一棟 一八一平方米四四

院長宅舎 一棟

食料品庫 木造平家建一棟 一一〇平方米一六

一棟延二〇七、平方米五七五

右雑品倉庫、食料品庫は立体的に使用する様設計せり、

奏任官宅舎 四棟

為に坪数は僅少なるも相当量を貯蔵するに足る。

一棟一〇一、〃 五三一

尚ほ雑品倉庫は物品の搬入及び患者への受渡しに便な

判任官宅舎 八棟

る様になしたり。

一棟七四、〃 九〇七五

(十八) 石炭庫 木造平家建一棟 一三一平方米〇四

雇員宅舎 四棟(七戸)

(十九) 木炭庫 木造平家建一棟 一二九平方米六

一棟五四、〃 一五

(二十) 引上物品倉庫 木造平家建一棟

傭人宅舎 八棟(十五戸)

看護婦寄宿舎	一棟	四二八、〃	八四五	見張所	一棟	五、〃	五〇
独身宿舎	一棟	延三一、〃	八五	危険物品倉庫	一棟	一二、〃	九六
第三期施行建築延面積				監禁室	一棟	九、〃	七二
				娛樂室兼礼拝堂	一棟	六一七、〃	七六
一、同	棟数	三五棟		同 附属便所	二棟	三六、〃	二六
二、同	内 訳			患者待合所(島外)	一棟	九、〃	七二
				車庫(島外)	二棟	九七、〃	二〇
				ガソリン庫(島外)	一棟	四、〃	六〇
男子軽症舎	八棟			雇員宅舎(島外)	二棟	一〇八、〃	三〇
				一、給水工事			
女子軽症舎	六棟						
裁縫室	一棟	七三、〃	一				
漬物倉庫	一棟	三八、〃	八八				
食料品加工所	一棟	九四、〃	七七				
小児舎	一棟	三一、〃	〇				
校舎	一棟	三三二、〃	〇六五				
隔離病舎	一棟	一六三、〃	六二				
精神病舎	一棟	九八、〃	二八				
工 作 所	一棟	六四、〃	一七				
農具納屋	一棟	一六、〃	二〇				

見張所 一棟 五、〃 五〇

危険物品倉庫 一棟 一二、〃 九六

監禁室 一棟 九、〃 七二

娛樂室兼礼拝堂 一棟 六一七、〃 七六

同 附属便所 二棟 三六、〃 二六

患者待合所(島外) 一棟 九、〃 七二

車庫(島外) 二棟 九七、〃 二〇

ガソリン庫(島外) 一棟 四、〃 六〇

雇員宅舎(島外) 二棟 一〇八、〃 三〇

一、給水工事

本園の給水は島内に飲料に適する水源無きを以て、国立療養所長島愛生園の施設に係る上水道より給水することとなり、同園給水設備の拡張其の他必要なる工事を施行せり。

(一) 水源設備の拡充

揚水量一昼夜四千石、揚程七十米の取水唧筒二台並に重油機関一台、量水器、空気圧縮器等の新設其の他設備の一部改造をなす。

(二) 浄水所の新設

邑久郡玉津村字庄田に於て、畑一反九畝十一歩を買

収し此の敷地に濾過池、浄水場、唧筒室、量水器室、冷却タンク、倉庫一棟、宅舎三棟等を建設せり。

(三) 配水塔の新設

邑久郡玉津村と裳掛村界なる「才の峠」に高さ十米七〇の配水塔を新設せり。

(四) 私設水道専用電話の新設

邑久郡豊原村愛生園水源地、浄水所、光明園取水池及愛生園配水池間に、巨長一六、六六九米延長三六、九九三米の連絡専用電話を架設せり。

(五) 自動水位表示装置の新設

前記庄田浄水所、配水塔、本園並愛生園配水池間に、線路巨長九、四九〇米の銅線を架設し、前記四ヶ所に各自動水位計を新設せり。

(六) 本園配水池

本園配水池は容量二千石にして、国有山林の払下を受けたる構内最高の山上に築造し、構内各所に送水するを以て水圧高く消火栓の能力極めて良好なり。

一、衛生工事

一、汚物污水处理

便所は内務省式とし、患者地域は方々に設けたる分

離槽に搬入し、各所より生ずる汚水と共に浄化をなし、尚ほ最後に浄化本槽を経て、完全に浄化せられたるものを所定の位置に放流するものとす。

無毒地帯の分は内務省式とし一部水洗式とす。

一、塵埃の処理

塵埃焼却炉に依り完全に焼却す。

一、電話電鈴工事

電話は局線二回線の引込みにより、構内の交換機を経て将来外部と通ずるもの一四、構内専用のもの一七、計三一となる。

又た必要の箇所には電鈴の設けあり。

一、防火設備

各建物は相当の間隔となし、連絡上接する処は一部鉄骨造となす等火災の予防に留意す、尚ほ間隔六〇米位に消火栓を設け屋外にスタンド式となし、各所にホース其他必要なる消火具を格納箱に収めて、常に見易き箇所にも備へ置く事とせり。

一、工事関係者

設計監督 大阪府

岡山県浅口郡連島町

土木工事 大本 百松

岡山市仁王町

建築工事 羽原 音次郎

大阪市西区土佐堀通二丁目

給気煖房工事 山田 工務店

大阪市此花区江成町

給水工事 小島 工業所

大阪市北区曾根崎上二ノ三

電気工事 栗原 工業所

浄水所及配水塔工事 浅野物産株式会社

## 二三八 光明園に展望台

〔合同新聞〕昭和13年10月1日

光明園に展望台

皇太后陛下の畏き御仁慈による、女官等の子豚貯金御下付の御沙汰を拝した光明園では、二十八日午後二時より神宮園長以下患者等参集その伝達式を行った、之に依り同園では長島の最南端に展望台を建設することゝなつた

## 2 上水道の整備

### 二三九 療養所の水源

〔山陽新報〕昭和3年9月2日

癩療養所 用水問題

井堰関係者 上京陳情

邑久郡裳掛村沖長島に国立癩療養所設置に關し、之れが使用水の水源を吉井川堰区域内に需むる予定設計案が成つて居る事を確聞した、各関係用水組合即ち田原堰管理者土井瀉瀬村長、坂根堰同寺尾今城村長、吉井堰同佐古御休村長、鴨越堰同安井雄神村長等は、旱魃時の送水を憂慮し、各関係町村長の諒解を求め各町村長連署の陳情書を携帯、去月十二日午後五時二十五分岡山発にて上京し、望月内務大臣、内務省衛生局長、佐上地方局長、岡田河川課長、潮内務次官等に面接し陳情する処があつたが、之れが陳情に關し上京者は左の如く語つた

我々の今回上京陳情の要旨は、療養所の設置並に平水時の給水に反対するものではないので、此の点は誤解のない様に願ひたい、要は只旱魃時の給水に対し各関係の灌漑を憂

慮して、斯く上京陳情した次第で、内務省では御承知の通り三ヶ年継続で工費九十万円を以て、昭和四年末迄に完成する事となつて居り、尚患者は二千名を收容すると云ふのであるが、該療養所には多量の淡水の必要があるので、水道工費三、四十万円を以て吉井川堰内に水源を需むる予定計画がなつて居る、当局としては今地方として之に反対せられては困るが、然し実情を聴取して見ると陳情の理由はあるとしふ、成べく用水区域の吉井川又は附近に水源を需むる事に考慮するが、管理者の方に於ても又適地を考慮して貰ひたい、何れ本省から出張した時は宜敷便宜を与へられたいと充分了解を得た

## 二四〇 水源地問題

〔中国民報〕昭和4年2月5日

長島癩療養所 水源地問題解決

今城村福山に井戸を掘鑿

関係組合の諒解成る

邑久郡長島に設置の国立癩療養所の給水については、内務省は吉井川の流水を引き、鉄管を埋設して送水する計画を立て、ゐたところ、田原、坂根、吉井、鴨越各堰管理者の反対

にあうて、昨年八月来行悩みの状態になつてゐたが、今回内務省は前記各管理者の陳情に鑑み、設計に多分の変更を加へ、鴨越堰の下流邑久郡今城村大字福山附近に位置を選定し、同所吉井川堤防外に多数の井戸を掘鑿して水源となし、約二箇月分の所要水量を貯水池に蓄へ、長島まで五里の間を水道鉄管で送水することになった、右につき去る二日内務省松崎技師来県、同日午前十時から西大寺警察署に邑久郡今城、上道郡雄神、西大寺、金岡の鴨越堰関係町村長を集め、設計の内容を示して諒解を求め、関係各町村長も大体に於て新設計を承認した模様であるから、近く位置の選定用地の買収を終り遠からず着工することになるであらう、今回の設計による所要経費は約五十万円で前の設計に比し十余万円の増加である

## 二四一 水源地の交渉

〔山陽新報〕昭和4年2月6日

長島療養所 引水問題

計画を変更 関係町村了解す

岡山県邑久郡裳掛村沖長島に設置されつつある国立癩療養所に関し、之が多量に使用する水源地を、吉井川堰内に需むる

予定設計が成つて居る事を確聞した各関係用水組合管理者は、早魃時の送水を憂慮し各関係町村長の諒解を求め、陳情書を携帯して昨年八月十二日上京し、望月内務大臣、内務省衛生局長、佐上地方局長、岡田河川課長、潮内務次官等に面接し、詳細説明を加へて陳情し稍了解を得たもの、如くで帰郡した事は、当時所報の如くであるが、本省内務技師松崎留吉氏は本件を齎して、二日県の根岸衛生課長を同伴、西大寺警察署に出張し午前十時鴨越堰関係の町村長（西大寺町長、金岡村長、雄神村長、今城村長）の四氏を同署に招致し、該療養所に対する引水問題に就て地方の陳情は本省に於ても了解した旨を告げ、更に之が水源地を邑久郡今城村福山地内に設けること、し、その方法としては吉井川鴨越堰堤外に井戸を掘鑿し、山頂に濾過槽装置の貯水約二ヶ月間使用し得る貯水池を設け、鉄管を以て五里余の間を長島に送水するといふ計画で、各関係町村長の諒解を求むる処があつて、午後一時散会したが、今城村福山地内に設けるといふ事は単なる予定に過ぎないので、更に具体方針に就ては同村と直接交渉をすること、なつて居る

## 二四二 水源地の変更

〔山陽新報〕昭和4年7月21日

### 癩療養所の 用水問題

幸島用水附近に 一大鑿井を造る

岡山県邑久郡裳掛村長島国立癩療養所の用水は、同島で湧水不可能のため邑久郡今城村福山より四里八丁のところに水道を設け、吉井川より引水する計画等あつたが、その後種々各地の水質を調査中のところ、この程豊原村大窪地内幸島用水附近の田地を買収し一大鑿井を行ひ、こゝに水源地を設け送水する計画具体化し、十九日豊原村役場に於いて光田癩療養所長、高野内務省衛生局予防課長、野口県衛生課長、木村豊原村長、朝倉邑久村助役その他有志、工事関係者等立会し、敷地借上の契約を締結した、用地は水質の実際検査を行ふ期間二百坪を百八十坪の使用料で借上げ、試験の結果水質完全と認定の上は改めて六百三十二坪を買上げ、一大水源地を設置されるはずで、目下のところ水質は完全なる見込みであるから、水源地はこのところに確定する模様である

## 二四三 豊原村の水源地

〔山陽新報〕昭和4年10月24日

### 癩患者の楽園

瀬戸内海長島の国立療養所

工事遅れて開所は来年の末

水道も対岸から引く

我が国の癩患者数の多い事は世界でも有名であり、その病の撲滅と予防については当局も常に頭を悩ましてゐる、大正八年内務省衛生局が全国各府県に命じて調査した時の数字によれば一万六千二百六十一名、内一人は自宅で治療の出来な人々であるが、公私の療養所に収容されてゐるものは二千名に過ぎず、他は全然放置されてゐた実状であつた。

此の実状に驚いた内務省では、大正十年全国一万六千名<sup>〔の力〕</sup>

<sup>〔をカ〕</sup>

患者の内第一期事業として五千名収容の計画<sup>〔をカ〕</sup>たて、その

うち四千五百名は各府県聯立療養所へ、残り五百名を国立

療養所へ収容する事となり

その国立癩療養所を岡山県邑久郡裳掛村大字長島に建設中で、我国唯一のものである、長島は邑久郡虫明沖海上二十町の処<sup>〔姫〕</sup>にあつて周囲四里、前に小豆島後に虫明海岸を控えた風光明眉な小島で、癩療養所として気候、交通、景色の三条件

をそなへた癩患者に取つて理想的楽園である、国立長島癩療養所唯一の欠点は飲料水の欠乏であるが、此れも追加予算十八万七千円で邑久郡豊原村より水を引く予定で目下試掘中である、長島の療養所は始めの予定では来年末開所の筈であつたが、土地の買上、工事の困難な為め予定より遅れて、明年末には開所式をあげる予定である、所員官舎は九分通出来上つてゐる

## 二四四 送水工事着手

〔山陽新報〕昭和4年12月5日

長島送水工事 建設に着手す

裳掛村長島の国立癩療養所に対する用水に就ては、今城村福山より吉井川の水を送水する計画等もあつたが、豊原村大窪地内で邑久村の隣接地、県道岡山邑久線に沿うた田地を水源地となし、此所より鉄管を以て送水する計画は本年七月決定し、取敢す水質試験の為め鑿井中の所、愈水質完全なる事認定され、引続き本工事に移る筈で工事用のバラック数棟は既に建築中である

## 二四五 水源地の工事

〔山陽新報〕昭和5年1月29日

療養所水源地 近く本工事に

国立癩療養所使用水の水源地、豊原村大字豊原地内の敷地は数ヶ月に亘る水質試験の結果、愈近く本工事に着手することになつてゐるが、右買取敷地の登記に関する書類は此程内務省より到着したので、二十七日邑久登記所で関係者出頭、登記の手續を終了した

## 二四六 送水管不良

〔山陽新報〕昭和6年9月16日

愛生園上水 敷設不良

漏水及び路面 破損に非難

裳掛村長島愛生園の上水道は、水源地豊原村より県道の路下に鉄管を埋設して、約五里の長区間を送水してゐるが、この水道鉄管埋設工事は竣工期を急いだ関係からか、接続個所より漏水するもの多数を算し、県道に水を浸出して路面を破損せしめ、又埋設後の跡始末も不充分的の観があつて、岡山邑久線より伊部牛窓線に接続し、本庄村より裳掛村に到る道路は極度に悪化してゐるので、岡山土木出張所の係員は之が修理

に關し愛生園に対し交渉を行つたが、愛生園では内務省に一任してあるといふので問題は其儘放任され、最近荒廢の度が更に増大する状況で、地方に於て非難の聲が昂まつてゐる

## 二四七 水道の漏水

〔山陽新報〕昭和6年12月3日

愛生園に通ずる水道漏水

邑久郡豊原村より裳掛村長島に通ずる、愛生園上水道の埋設水道鉄管より漏水して県道を損傷しつゝ、ある事は既報の如くであるが、昨今稲田が刈り取られて漏水が単に路面のみならず田の中へ浸出し、之がため鉄管埋設の道路に沿うた田の耕起不能の状態となり、昨今麦の播種に差支を生じてゐる所が、邑久村地内のみでも相当の數に上り、甚しく農家の非難を買つてゐる、而して実状を調査すると、単に鉄管の接続作業の粗漏のみが漏水の原因でなく、鉄管其物の品質不良に基き、管全体より強圧を加へられた水がにじみ出してゐる事が明となつてゐるので、被害の甚しい田地の耕作者の間に損害賠償請求の協議が行はれてゐる

### 3 恵の鐘

#### 二四八 建設の経緯

(愛生編集部蔵『愛生』第五卷第十一号 昭和10年)

恵の鐘建立まで

恵の鐘建立委員(入園者) 栗下信策

つれくゝの友となりても慰めよ

ゆくことかたき我れにかはりて

畏も勿体なき極みである。

皇太后様が日本一万余人の癩者を慰めよとて降し賜ひし御歌である。

我等は此の有がたき御旨を千代万代までも奉戴感謝奉るべく恵みの鐘建立を発願して頂いたのである。

愛生園歌に

あめよりひびく 恵の鐘に

あわせ歌はん 愛生の歌

この歌は全園こぞつて日夜歌つて居る。

この心の記念塔が恵の鐘の発願の動機でもある海の国立公園のま近にある長島、我等が更生の和魂ナゴヤかな新天地、天は高

く、地はなごやかに本園開拓五周年記念日は目捷に迫つた。

このよき日に恵の鐘建立完成されるのだ。回顧すれば約二ヶ年転た感慨無量である。

昨年九月三日、園長殿は舎長会を開き(職員と患者とよりなる)園長殿はこの千歳不滅の

皇恩をなんとかして記念し奉り日夜此の極みなき皇恩に浴し奉ると共に、万代不朽に記念し奉り度いが。それにつき、光ヶ岡に、恵の鐘建立をいたし度い、その材料購入等の経費は別に考へるとして、さしあたり、地ならし、石材運搬、砂利、砂等の運搬などは全園の奉仕にてこれをなしたいが如何との有がたい御指示であつた。我等病者は謹で拝承し満場一致決定し即座に之れが実行委員数名を互選した。

職員方から両課長外数名

病者側からは

S、M(正副惣代)、S、K・S(舎長会顧問)、I、K、S、I等の諸氏であつた、尤も正副惣代は各舎長任期改選のとき新たに代りたるときは、その正副惣代が事務引つぎ此の任に当ることになつた。

工事現場事務はK・Sが取ることにし、石材掘り出しや運搬、地均し工事の方は土工部主任K氏が担任し、石材及び石

材工事は石工部主任S氏があたることになり、コンクリ工事はT氏が受持つことになり。此の石材、砂利、砂等の運搬は、本園記念日の毎月廿日を期して一時間半より二時間まで奉仕作業時間として男子は勿論婦女子幼き児童まで、バケツに、棒チギレをさして荷ひつ、光ヶ丘へあげる光景は既にフィルムに納まつて居る通りであります。

何を申すも園長殿が、真先きに立ち、職員方々の白衣隊が弱きを助け、強きを引いての大活動であるから実に一大樂園の大曼多羅<sup>[陀]</sup>……絵巻物をくりひろげる如くであつた。

此の材料購求費用は西本願寺殿より御寄附給りしと承る、仏恩の有がたきに感謝合掌しつゝ、居る処である。

この建立事業は向ふ三ヶ年を要する計画であつたが、全国に皇恩の聖化はあまねく、感激感謝の力となりて約半分の年月にて此の建立も完成に近かつきつゝあるのです。

忝なくも、さきに、東本願寺御裏方様の納骨堂落慶式に御光臨を給り、今又皇太后様の御令妹様にあたらせ給ふと洩れ承る。西本願寺御裏方様が此の建立完成慶讃式に御光来を賜るやに仄聞し奉る、誠に〜皇恩仏恩はいよ滋く有がたくも勿体なき極みである、感激感謝にきはまりなく何と申してよきか言葉のなき次第である。

ああ本園開所満五周年記念は来る十一月廿日である。

園長殿を初め職員と患者とが打つて一丸となり雄々勇ましく愛の活動、汗の感恩感謝の結晶たる恵の鐘楼台は長島光ヶ丘、秋空高くそびへ此のよき日を卜して落慶式はあげられんとしつゝある。

思ふに皇恩の德音は十方に響流しやがては日の本の黒点……癩の影はきへ果て、豊国強兵の喜びの鐘の音の輝き流る、日も近き将来にあるであらう。

## 二四九 建築概要

(三宅克広氏蔵「鐘楼建築概要」昭和10年)

### 鐘楼建築概要

- 一、様式 近代ニツポン社寺綜合式建築
- 一、構造 鉄筋コンクリート造
- 一、屋根 緑色スパニツシユ瓦葺
- 一、楼台 花崗岩積 縦横最長部 七間二尺 (一三、三三米)
- 一、鐘楼 二坪七合六勺(九、一二三平方米) 高サ 九尺(二、七二七米)
- 柱真々十尺(三、〇三米)

楼台高サ地盤面上十七尺（五、一五二米）

- 一、工費 金貳千貳百八拾七円八拾七銭也
- 一、起工 昭和八年十一月十日
- 一、竣工 昭和十年十一月二十日

## 二五〇 撞初式

〔山陽新報〕昭和10年11月13日

愛生園の鐘 撞初式

実況をKKで 全国へ中継

畏くも皇太后陛下におかせられては、昭和八年十一月全国の癩患者をお慰め遊ばされる有難き御思召から、御歌を賜はつたが、岡山県長島愛生園では陛下のお仁慈を偲び奉るため、皇后陛下の御妹君に当らせられる西本願寺の智子裏方の出資を得て、御歌を刻んだ梵鐘を謹作中であつたが完成したので、来る二十日同園内の鐘楼前でこれが撞初め式を行ふこと、なり、KKでは当日式の実況を全国に中継放送すべく準備を進めてゐる

## 二五一 竣工式と中継放送

〔中国民報〕昭和10年11月14日

恵みの鐘に祈る

二十日、愛生園で竣工式

撞き初め中継放送

悲しき疾病「レプラ」に蝕まれた人人が信仰に生き、朝な夕な祈りを撞く岡山県邑久郡長島愛生園に、西本願寺裏方の援助と患者の導き奉仕で竣工を急いでゐる鐘楼は、近く竣工を見るので、廿日同園では西本願寺裏方を迎へ「恵みの鐘の撞き初め式」及び竣工式を行ふことになつたが、岡山放送局では右実況放送をなし全国へ中継することに決定した

同鐘楼には畏くも日夜癩患者の上に、深く御慈愛をたれさせ給ふ皇太后陛下下賜の御歌が鑄込まれてゐるもので、愛生園職員患者一同は竣工近きけふこのごろ非常に感激してゐる、なほ岡山放送局では十一日午前十時より第一回の放送テストを行つたが、成績極めて良好なので、十九日第二回の試験を行ふ筈

## 二五二 撞初式中継

〔山陽新報〕昭和10年11月20日

恵の鐘 撞初式 前九時  
四五分

愛生園より中継

長島愛生園は岡山県邑久郡裳掛村虫明沖の長島にあり、我国最大且最も施設の充実進歩せる国立癩療養所である。瀬戸内海をはさんで小豆島と相對する実に風光明媚な愛生園の中心光ヶ丘の頂上で、二十日の開園満五周年記念日をトし「恵の鐘」撞初式が挙行される。

畏れ多いことであるが、皇太后陛下におかせられては、多年癩救療事業に対し深く御軫念あらせられ、これ迄度々御内帑金を賜はり、或は御使を遣はして慰問せしめられる等、限りなき御仁慈を垂れさせ給うてゐる。昭和七年十一月十日には、「癩患者を慰めて」なる御題の下に

つれつれの友となりても慰めよ

ゆくことかたきわれにかはりて

との御歌を賜はつた。この有難き大御心に感泣した愛生園全職員、入園者は深き御思召の程を永久に記念すべく、その御歌を鑄刻した梵鐘を作らんと計画した所、皇太后陛下の御妹君に当らせられる西本願寺衞子裏方には其金を寄進せられ、

更に御歌も自ら染筆になり梵鐘に鑄刻された。これを収める鐘楼は、全入園者の約二ヶ年に亘る涙ぐましき勞力奉仕に依つて立派に完成せられ、こゝにその撞初式が行はれるに至つた訳で、この鐘は有難き思召から「恵の鐘」と命名し、朝夕に御仁慈に対する感激を新たにし、入園者の生活を精神的に高め美はしくせんとするものである。当日は西本願寺、宮内省、内務省其他各方面の名士多数参列、君ヶ代、皇居遙拝、読経、除幕式、撞初、御歌奉唱、挨拶（光田園長）、答辞（入園者代表）、愛生園歌、万歳等の式次で盛大に行はれる。実況中継としても此種のもの未だ例なく、この中継によつて皇室の御仁慈を伝へ且一般国民中に、癩を遺伝とする誤れる認識あらばこれを匡し、更に癩問題について一般の理解と同情を深めるものと考へられる。

## 二五三 愛生園五周年記念日

〔山陽新報〕昭和10年11月20日夕刊

皇太后陛下の御仁慈を偲ぶ

恵みの鐘撞初式

愛生園五周年記念日

数々の余興に全島歡喜に湧く

畏くも皇太后陛下の御仁慈を久遠に偲びまつる島の護り―岡山県邑久郡裳掛村国立癩療養所長島愛生園の恵みの鐘落成  
撞初式は雲間洩る初冬の陽光内海の島山にかがよふ、二十日午前九時四十分から同園開園五周年記念日をトして、最も厳かに執行された、これより先き同園中央光ヶ丘の鐘楼前の式場には

来賓入江皇太后宮大夫、西本願寺絰子裏方代理同高木執行、岡山県知事代理田中社会課長、坂本裳掛村長、東原邑久郡在郷軍人分会長、同園光田園長以下全職員、入園者等約千三百名参列

定刻四谷同園事務官の開会の辞に次いで国歌合唱、皇居遙拜、高木執行の除幕読経あり、終つて高木執行、光田園長、岡山県知事（代理田中社会課長）の順序で厳粛裏に撞木をとつて梵鐘を一打、二打すれば、余韻長く尾を引いて陛下の大御心を伝へ奉る、終つて皇太后陛下の御歌を斉唱、光田園長の式辞あつて絰子裏方の訓話（代理高木執行）、入園者総代の答辞あり、最後に愛生園歌を合唱、万歳を三唱して式を閉ぢ、引続き礼拝堂で開園五周年祝典を兼ねて祝賀式に移り、開拓の歌、礼讃歌を合唱開会、四谷事務官の開会の辞に次いで読経、光田園長の式辞、来賓の祝辞があつて、本派本願寺黒川

社会部長の訓話あり、入園者総代の謝辞あつて式を終つた

この日KKでは前日來出張の安達放送局長以下係員は、式場南端に短波無電機を特設し、小此木アナウンサーマイクに立つてこの意義深き式典の実況を、具さに全国に中継放送を試み、皇室の御仁慈をたたへ奉り、併せて一般国民の癩問題に対する理解と同情を新たにすると共に、恵まれぬ全国一万五千の癩患者に力強くも亦温い同胞愛の電波を送つた、地元裳掛村ではこの喜びに協賛し、余興団を繰込んだ外、岡山中検芸者三十余名の義太夫、手踊などあり、興を添へ終日全島祝賀気分溢れた

## 二五四 撞初式を終つて

〔山陽新報〕昭和10年11月21日

入園者の尊い労働奉仕

近代づくりの鐘楼

“恵みの鐘”の撞初式を終つて

愛生園長  
光田博士 感懐の一詩

二十日落成撞初式を行つた岡山県邑久郡裳掛村国立長島愛生園の「恵みの鐘」は、西本願寺絰子裏方の出資を得て、延人員一万四千、総工費二万五千円を投じて、二ヶ年間全入園者

の尊い労働奉仕によつて本年十一月初旬落成したもので、鉄筋コンクリート造りの鐘楼は、近代日本社寺綜合建築の新様式を誇り、建坪二坪七合、高さ約二十尺、緑色のスパニッシュ瓦葺の屋根は島の青春と謳つて居り、梵鐘には皇太后陛下の御歌が鑄刻され御仁慈を偲び奉ると共に、一千二百名の入園者の心の友となり、併せて癩撲滅の黎明を告げる暁鐘として、永久に島の護りとなるべきものである、撞初式を終つて園長光田健輔氏は語る

畏くも皇太后陛下におかせられては、これまで幾度も癩患者に対して御恵みを垂れたまひましたが、去る昭和七年「癩患者を慰めて」の題下に御歌を賜はつたので、御心に感激した当園ではこれを銘記し奉るため梵鐘を謹作いたしましたわけで、全患者の労働奉仕によつて、こゝに落成撞鐘式を挙げましたことは私の悦びに堪へないところであります

と左の如き感懐を籠めた一詩を示した

坤徳深高過海山

御歌千載五州頌

鐘銘鑄得大慈愛

朝暮響流天地間

## 第二節 十坪住宅の建設

### 1 住宅の不足と十坪住宅

#### 二五五 「同胞の家」建設寄附金の要請

(愛生園蔵「十坪住宅寄附関係書」昭和8年)

謹啓 愈々御清穆之段奉慶賀候

陳者本邦に於ける癩予防施設の実況を見るに、国内には現に一万五千なる多数の患者を有するにも拘らず療養所に入所せる者は僅に四千余名に過ぎず、斯の如きは人道よりするも將又国民保健上よりするも寒心に堪えざる次第に有之、依て本会は曩に此等社会に残されたる患者の為に同胞の家を建設するの計画を樹て候処、幸にして汎く江湖の同情を得、本計画樹立後僅に一歳余にして、建設資金の総額は現在一万一千三百八十一円十八銭に達し、住宅建築工事は既に八棟(一〇九坪五合)を竣功し客月廿八日国庫へ寄附致候、尚目下建築中に係る五棟(八四坪八三)は近く落成を告げむと致居候本工事予算額は一昨秋計画の当初一棟四百円(一坪当四〇円)に有之候処、同封仕候別紙収支計算書の通、物価高騰の影響

を蒙り水道工事費及電灯工事費等を合算せる実際の建設費は、患者作業に依るも尚一棟の建設費五百円を越ゆるものも有之、平均坪当工費五十円以上を算し、現在に於ては一棟五百円を要する事に相成候

本邦の癩予防施設は漸く黎明期を見たるに過ぎざる現状に鑑み、本会の当計画は益々緊要なるを覚え候に就ては、誠に恐縮の次第に存候得共、別便を以て献金袋送附仕候間、何卒為邦家本計画に御賛同の上、何分の御高配相煩度奉悃願候  
右御依頼旁々得貴意度、如斯御座候  
敬具

昭和八年二月

長島愛生園慰安会長

光田健輔

殿

二五六 定員超過の愛生園

(愛生園蔵「患者記録票(一人一題「最近の愛生園」)昭和9年)

一人一題最近の愛生園

最近の愛生園…それは不平不満この四文字でつきるでせう。実に今の長島は、情ない状態です。恐らく全各療養所中、最劣等に置かれるでせう、社会の下層階級でも馬令諸〔鈴薯〕の皮を取

らす其まま喰ふ物はほとんどないでせう。園長始め職員方も一度試食して見て下さい。実に閉口です。

最近食物の悪くなった事甚だしいです。それもその筈(外島から来た人は別とし)それ以前既に二百名驚くなかれ約三割弱の定員超過、それでは皆が困るのも無理はない。実に惨酷な遣り方です。予算もない此島へ余りにも人を入れ過ぎて入園者を苦しめる園長の心が知れません。

尚職員方の偽を云ふのには閉口しますね。愛の島でなくて地獄島だ地獄島だ

公明正大を望む 病者弱右工門

.....

收容人員が千人を突破

N・T

三年六ヶ月で無菌児童と患者を合せて收容人員が千人を突破した裏には、涙ぐまじき職員活動と同病愛に燃ゆる患者の犠牲的精神の潜む事を見逃してはならぬ。定員七百三十二名の処へ現在九百八十九名の患者を收容して居るのである。

……十二畳半に八人の現住者の他に幾人か宛外泊の有籍者があるといふ程、住宅に狭隘を告げて居るのも無理からぬ処である。更に今年度の予算内で二百五十七名に糧食を割愛して

行く為め、毎日の献立が底下<sup>〔低〕</sup>して来た事も争はれぬ処である……嘘らぬ話が現在の愛生園は、確かに右の点に就き他の療養所に比して劣るとも勝れて居ない事が事実であると共に、チト利き過ぎた無理に折々聞く不平の声も、「此際だ」の一語に鳴りを静めてしまふのも又事実である。……然し患者の美德は此処に在ると私は思ふ。若し一大愛生の実現の夢が無く、園長殿を家長とする職員と患者を打って一丸とした大家族精神が無かつたなら、患者はもつと裕かな生活が出来る筈だが、それが果してかゝる愛生スピリットこそは、<sup>〔聴力〕</sup>□て実現するであろう一大ユートピアの夢に生きるからである。……而して此の夢は一大家族主義の徹底によりてのみ、永久に破られぬ事を私は確信して疑はぬ者である。

……  
愛生園で生きいる姿

S・N

さやかに澄みわたった秋の碧空の下で、破壊、そして建設への理想と使命に燃えながら、きらめいてゐる鶴嘴の動きをみる時、私はその光影にチャムされ、深い或るヒントを抱く……そのヒントに向つて静かに考慮<sup>かんがへ</sup>するとき……何物かやある。愛生、それは愛に反逆せずして愛に生きることである、生か

してゆくことである。

だが私は、島の現在とはと?……

即ち愛は苦しいと云ふことである。

愛に生きるとは、生きると云ふそのものに対しての、純然たる全体でなければならぬと誰かゞうそぶくであらう。

が然し私は思ふ。

現在の<sup>いま</sup>彼等の姿を省みて、生きゐる姿を総てに渡つて<sup>みつめ</sup>疑視する時、愛に生きいる故に彼等は苦しみ喘へてゐることをみる……

……矢張苦しいのだ、愛に生きることが。

が、その喘へぎ、その苦しみの充たされぬ微すかな底から一縷の力強い、そして基礎的な生長的な偉大なるものを<sup>みいだす</sup>発見するのである。即ち苦しみの愛に感激しつゝ、光明への歩みの姿を

……。現在<sup>いま</sup>は立錐の余地なく超満員詰り状態である。その

彼等を象徴せば、彼等は苦しいと叫んでいることだらう。そ

うしたことに如實的に生活してゐる彼等を、又一步譲りて私は静かに見つめた。

愛に生きるとは苦しい、だがそれは彼等をして彼等の愛を招くことであり、彼等は叫んでゐるであらうその苦しみを除却することであらうと思はる。

故にそれが、十坪住宅なり或るは種々の寄贈物として、或る

は社会的の理解、同情となつて彼等の生きゐる姿に、齎して  
 いるをみる。

最近の愛生園。

これを物語る最も大きなそして力強いものは、彼等の愛に生  
 きる苦しさの中からけなげにも、しづかに何物かに向つて歩  
 みつゝある姿であると私は思ふ。

九. 一〇. 一〇 S・N

二五七 慰安会刊「十坪住宅」

(愛生園蔵「十坪住宅」昭和9年)

〔表紙〕

愛生パンフレット第三輯

十坪住宅

長島愛生園慰安会

仰げ 御仁慈 救へ同胞

十坪住宅の出現は病者の歓であり社会の喜びである

序

我が救癩運動が輓近皇室の御仁慈に依り、急速なる進歩を来  
 し、社会一般の理解同情を聚むるに到つたことは、公衆衛生  
 上又人道上慶賀に堪江ぬところである。

されど實際的方面に於ては、療養所に救はれたるものは、  
 総数の数分の一に過ぎず、暗黒に泣く病者は今猶万余に上る  
 を見る。而も国庫及地方の財政の窮乏は、療養所の拡張に就  
 き、意の如くならざるものあり、之に反して、療養所の門を  
 敲く病者は踵を接し、超員に超員を加へ、最早療養所は此等  
 救求むる可憐の声に耳を蔽ひ、堅く門戸を鎖すの他なきの窮  
 状に立到つた。

於茲乎、我が長島愛生園慰安会は、この窮状を黙視するに  
 忍びず、微力ながら、率先して、一人にても多くの病者を救  
 はんが為、十坪住宅建設の運動を提唱する事にした。幸にも、  
 江湖の同情に依り、僅々二ケ年間に二万円を突破する多額の  
 寄附金を聚め、それに依つて、優に三百名の病者を救ふに足  
 る住宅を建つる資金を得た。

本書は過去二ケ年間に於けるこの運動に対して、多大の御  
 同情と御援助とを与へられた各位に、感謝の意を表すると共  
 に、今後益々本運動の進展せしむことを期するが為、記述し

たものである。

昭和九年一月二十日

長島愛生園慰安会

### 目次

天よりの警鐘	一
同胞の家十坪住宅運動	四
癩者の悲願	九
入園者の観たる十坪住宅	一二
外国人の観たる十坪住宅	一六
社会の反響	一七
十坪住宅運動に参加せよ	二六

### (附) 官公私立癩療養所一覽表

全国癩患者表

癩多き市郡表

十坪住宅寄附金収支一覽表

### ■ 十坪住宅運動とは

社会に悩む気の毒な癩患者を、一人でも多く、一日も速かに、療養所に入れるため、簡易な住宅を療養所に建てる運動である。

その資金は社会の同情に依り、その建築は入園者たる大

工、左官等の奉仕による。而して相互の協力に依つて祖国日本より癩を潔めんとするものである。

### ■ 愛国献金

十坪住宅一棟は、五百円で出来る。六畳敷二室と、台所、便所を備へた瀟洒な建物である。そこには、六人乃至八人の病者が住めるから五百円あれば六人乃至八人の病者が暗黒より救はれ、社会は六人乃至八人の癩者に依る伝染の危険から免れることとなる。即ちこの運動は、単に患者の保護だけでなく、健康なる一般国民の保護である。愛国献金の名のつけられた所以である。

### ■ 献金の方法

献金の額は、一人十銭を標準にしてゐるが、愛国献金なる故に必ずしも金額の多寡は論じない。癩を救はんとの志に燃えた献金なれば、たとへ一銭でも有難く頂戴する。本会はその目的のために献金袋を用意してゐる。御申越があれば何時でもお送りする。

### ■ 出来上つた十坪住宅はどうなるか

出来上つた十坪住宅は、総て国庫に寄附せられる。即ち政府は、それだけ財政的に拡張費の負担を免れる訳である。

## ■献金の送り先

献金は、左記のところへ送つて、いたゞきたい。振替貯金を利用せられるのが、最も便利である。若し振替貯金で、送金して下さる場合には、本会の別名である「黎明倶楽部」宛に願ひたい。

岡山県邑久郡裳掛村

長島愛生園慰安会

振替口座大阪七二八六三番 黎明倶楽部

## 天よりの警鐘

一八九八年ドイツの東辺メーメルに数名の癩者発生するや、ドイツ政府は警鐘を乱打して国民に警告し、一方、コツホ、キルヒネル等の名医に謀り、早速メーメルに癩病院を設置し、十二名の癩者を悉く入院せしめた。かくて一八九九年、その開院式に臨んだ文部大臣ボツセは「憐れむべき者の中最も憐れむべきものは癩者なり」と言ひ、大学教授ペーテンゼンは、「かゝる施設病院を有するは、国民の最大荣誉なり」と云つた。ドイツ政府は国家多事の折柄にも拘らず、十二名の収容患者に対して院長看護尼外六名の職員と、建築費四万五千元（八万五千マーク）と経常費七千五百円（一万五千マ

ーク）とを以てした。之れは如何にドイツ国が、癩者の救済、癩病の根絶に苦心したかを物語るものである。

翻つて我国を想ふ。今日猶一万五千人（実際はその倍もあらんか）の癩を持ち乍ら、その救済施設は如何？……、僅かにその数分の一の病者を療養所に容れてゐるのみで、大多数は山の奥の小家に、又日光も入らぬ土蔵の隅に、蟄居を余儀なくせられてゐる哀れむべき状態でないか。

然るに警鐘は鳴らされた。畏くも御仁慈に富ませ給ふ皇太后陛下に於かせられては、世にあわれむべき者多しと雖も癩者の如き者あらじと、至深至厚の御心を示させ給ひ、昭和五年以来毎年多額の御下賜金を、療養所に賜ひつゝある。而もその御下賜金は、大正天皇御在世中から、御日常の供御、御服などの費用を御節約遊ばされてのお金と漏れ承る。

又昭和七年十一月十日の御歌会には「癩患者を慰めて」といふ御兼題の下に、次の御歌を賜つた。

つれづれの友となりても慰めよ

ゆくことかたき我にかはりて

この有難き思召を拝するとき、我々国民は、癩問題の如何に重要なかを認識し、齎しく奮ひ起つて、思召に副ひ奉るべきところがなくてはならない。光明皇后の御事跡といひ、

皇太后陛下の思召といひ、何れも御自ら範を垂れさせられ、眠れる国民に癩者を救へとの教を示し給ふたもので、国民として、実に恐懼に堪えぬ次第と謂はねばならぬ。

皇太后陛下の御仁慈に、先づ奮ひ立つたものは癩者である。今迄は全く肉体的にも精神的にも生ける屍に等しかつた彼等も、茲に始めて、その生き甲斐を感じて来た。近時全国の療養所が一斉に活々として来たのはこのためである。

今にして知るみ心にあらねども

み歌よみつ、涙あらたなり

この歌は、ある病者の詠じたものであるが、この心情こそは、全国総ての癩者の抱く共通のもので、この御光に照されたる彼等は、この上は唯如何にして、御仁慈に酬ひ奉るべきかを思ふのみである。

かくして 皇太后陛下の御仁慈に依つて目醒めた国民の同情心と、療養所内に在つて自らの食を割き座を譲つて悩める同胞を一人でも多く容れしめたいとの念願に燃えた病者との共同力によつて生れ出たのが、同胞の家十坪住宅運動なのである。

愛生園々歌(第一節)

天つ大御母 恵の御手に

我が黎明の 鐘なりわたる

あけゆく瀬戸の 緑の島は

これぞわれらが 愛生の園

同胞の家十坪住宅運動

我が長島愛生園は、昭和六年三月二十七日、病者の収容を始めてから、僅に四ヶ月にして、当時の定員四百名を突破してしまつた。それにも拘らず、病者は毎日に殺到して、入園を懇請する。

然るに、我等には、その要求に応ずべき設備を持たない。自然我等は、悲しくも超満員の名を以て追ひ返すのが、務となつてしまつた。

病者は親兄弟にも見捨てられたもので、唯一の頼り所として訪ね来た療養所にも、入り得なかつたならば、彼等は何処に安住の地を見出し得やう。悲惨な末路のみが彼等の前に横わつてゐるのである。

つい先達のことであつた。愛生園から、数里を距てた牛窓まで辿り着いた一人の女患者が、そこから電話で、入園を願ひ出たが、定員より百名以上も超過してゐる際とて、心ならずもそれを拒絶したので、行き所なき彼女は、遂に死を決して身を海に投じた。

幸にも、漁夫に助けられて、生命を取り留める事が出来、遂に入園したのであったが、これなどはまだ良い方である、岡山の旭川では、子供を負ふた女患者の死骸が浮上つたことがあり、和歌山のある片田舎では、入園の出来ぬ為に、一家三人殺を敢行した男患者もある。又九州では炭坑夫をしてゐる間に、発病した病者が、妻と二人固く繋り合い、爆発薬に点火して悲惨な死を遂げた例もある。此等は何れも療養所の超満員に依つて生れた悲惨な犠牲者である。

昭和七年六月十日の大朝神戸版に「読者の声」として次の様な記事が出てゐる。

### 一大社会問題

数日前のこの紙面に出た「親兄弟と生別れ、どこに生きるのか哀れなレプラ患者の少年」と題する記事を読んで人々は何か感じたであらうか。我等は重大なる社会問題と信ずる。

お前は悪い病気に罹つてゐる。村の恥でもあり、又お前が居ては三人の妹も縁づけず」と云ふ無智な親兄弟は論ずるに及ばず、県当局が「大阪の外島保養院に交渉の労をとつたが、満員のため収容出来なかつたので、所詮仏の道を慕ふより術なしと因果をふくめ、このほど四国遍路の旅にのぼらせた」！私はこれが当局者としての真の同情であるかを疑ふも

のである。

かゝることは村は県に、県は政府に、その責を譲ろうとしてゐる。レプラ患者根絶運動は政府当局だけの問題でない。県当局は何故その少年のために同情して、因果を含める前に、この問題が単にその少年だけの問題と考へず、兵庫県自身の問題として考へてはくれなかつたのだろうか。この患者を出したことを「村の恥」と云ふ親の言葉を聞いた時、県当局はそれを「県の恥」と感じていたゞきたかつた。

単なる信仰によつて、日本のレプラ患者の根絶を期することが出来るのだつたら、因果を含めて仏の道を説くお役人を増員してもいい。敢て当局者の再考を願ふと共に、県民諸氏の真剣なる同情心に訴ふ。

(御影 Y)

### 同じ問題に付て

あの記事を読んで、その当人や親兄弟の悲しい心持を察すると共に、非常なる公憤を感じたのです。何故なれば、あの記事は癩病は天刑病であり、不治の伝染性業病であるとして扱はれてあり、そして係官は一応外島保養院に紹介したが、満員と聞いて、その辺にうるくされては困るとばかり、再び遍路に行かせたといふのです。これが一等国日本の神戸市の

出来事として許されることなのです。多分その係官は避病院が満員ならコレラ患者も遍路にやり兼ねないと私は心配します。

一昨年畏きあたりの思召を体して、時の安達内相は癩予防協会を設立し、内務省内に事務所を置いてゐます。何んでも九千万の国民が一ヶ年に二銭宛三十年出せば一万五千人（内務省調査―英国の一学者は日本十万と推定せる由）の患者を根絶出来るとの事です。

皆様！吾々の健康を祝つて一年に三銭切手一枚を癩根絶のために献げやうではありませんか。

× × ×  
(尼崎 M、N生)

療養所満員によつて起る悲劇の数々を見せつけられる毎に、患者救療の任にある職員はたまらなくなる。又既に入園せる患者とても、過去に於て、そのやうな経験を、一度は踏んで来たこととて、これ又平然として、自分のみの平安を貪つてゐることが出来ない。一人でも気の毒な同病者を救ひたいとの、止むに止まれぬ念願の下に生れ出たのが、十坪住宅運動の提唱である。

昭和七年六月二十四日の中国民報には、次の様な記事が報ぜ

られた。

#### ■愛生園の哀しき繁盛

収容患者続々増加し病棟足らず

国立癩療養所長島愛生園の患者収容定員は過般の臨時議会で、従来より百名増加して、五百名を定員とすることに決定し、今秋末迄に定員全部を収容し得る設備の完成を見る筈になつてゐるが、現在既に旧定員四百名を遙に超越し四百七十七名の患者を収容して居り、著しく病棟の狭隘を感じて居るので、これが応急策として、同園慰安会では十坪住宅の建築を計画し、既に三棟を建て、あるが、このほど更に寄附金参千五百円中より式千八百円を支出して、十坪住宅七棟を増築することになつた。該住宅は一棟四百円近時材料価格騰貴のため五百円に訂正の材料費によつて、患者の手で造られる六畳二間の簡易住宅で、一棟六人―八人の患者を収容すること、なつてゐる、愛生園では入園患者の増加に比例して、予算を増加することの出来ない現在の財政窮状を打開し、一人でも多く患者を収容すべく、一般の寄附によつて、今後もこの十坪住宅の増築によつて、無告の患者収容に努める方針である。

#### 癩者の悲願

既に療養所に救はれた癩者は、自らの陰惨な過去を思ひ浮べ

る時、現在の幸福なる生活に浸つてばかりはゐられない。何とかして、一人でも多くの同病者を迎へ、共に楽土を造らんと出来得る限りの活動を開始した。或る者は、重病者の附添看護をして健康者なる看護婦の手を省き、或者は大工として或る者は左官として、或る者は土工として、その他洗濯、裁縫、精米精麦、農業、牧畜等々のあらゆる方面に力を協せて、園の生活を更に幸福ならしめ、後より来る同胞のためにより善き住居をつくらんと努力してゐる。昭和七年十一月大阪に開かれた第五回日本癩学会には、大阪外島保養院患者一同より次の様な意見書が提出された。

#### 私共癩患者が社会に対するお願い

私共は、世にも恐ろしい病に罹つてゐるものではありませんが、幸にも皆様方の深い御同情に依り、現在療養所で、お手厚い介抱を受け、誠に結構な日を送らせていたゞいてゐます。然し乍ら、一般社会には、今尚ほ数万の同病者が、治療も碌々受けることも出来ず、しかも周囲の擯斥と、さげしみの中に、ひたすら救はれの日を待ち望んで居ります。この様な現状にあつて、私共療養所内の病者は温い愛の手に抱かれてゐる自分共の身の幸を考へるにつけ、外部に取残された沢山の同病者の苦難の程がつくづく思はれ、自分達だけがこんな恵まれ

た境遇に置かれるのが、これ等同病者達に対して本当に済まないやうな気がしてなりません。殊に私共の病気は、恐ろしい伝染病であります。この危険な病に罹つてゐるものが、社会に介在し、しらすくの間にも多くの人々に伝染の機会を与へ、新らしい受難者を絶えず出してゐるのだと考へる時、私共は慄然として、自分達同病者の犯す罪が如何に大きいかを、深く／＼考へさせられるのであります。

こう考へ、こうしたいと私共は常に決意して居りますもの、甚だ遺憾なことは、我国の療養施設が今日にあつては、余りにも狭隘な為め、私共のこの唯一の義務と使命は全く果すやうも御座いません。

どうか理解ある皆様のお力で、是非この療養設備を、一日も早く完成して頂きたいのです。この設備が完成さへすれば、単に私共の使命が果せるばかりでなく、実に全国数万の同病者が、今の惨めな境遇から、挙つて救はれることになるのであります。そしてこの願こそは、私共と共に、全国癩療養所の患者全体が、等しく持つてゐる大きな念願で御座います。どうか、吾々のこの切なる願が、一日も早く叶へて頂けます様、この癩学会を通じて一般社会の方々へ、私共外島の患者一同心からお願する次第であります。

## 外島保養院患者一同

この切なる願ひは等しく全国療養所患者全体の願ふところである、一人の病者は

日の本ゆ癩をのぞかん心こそ

今の日本を愛す心ぞ

と歌つた。自ら癩と云ふ重荷を負ひ乍ら、なほこの癩をなくするのが自分たちの願ひだと叫ぶところは悲壯ではなからうか。

この癩者共通の悲願！我が長島愛生園慰安会の同胞の家十坪住宅運動も亦、この癩者共通の悲願が具象化したものとも謂へる。

## 入園者の見たる十坪住宅

H・Y (仮名)

十坪住宅！それは恰も自分の名を呼ばれる如くになつかしい名だ。一生忘れる事の出来ぬ深い印象の名だ。

将来は大建築家になるのだ。今に／＼と思つて辛抱した年期奉公も、途中で発病（本病）した自分。一度は失望のどん底に突き落とされてしまったのだつた。もう自分は此世に於ては何も益する事の出来ない厄介者！

ある時は死をさえ覚悟をした自分なのに、……今の自

分は何と言ふ幸運に恵まれたのか。愛生園に入園させて頂き木工部に出る様になつてから、全く此のなやみ失望から救はれる事が出来たのだ。

何と言つて良いか、唯うれしい、大工になれない、もう病氣になつて家を建てる事は出来ないときらめた自分。今は何の気兼ねもなく、親よりも親切な同病の同職年輩に手を取つて十坪住宅を建てる事を教えて頂く。なんと言ふうれしい事だ。愛生園に来た時はまだ二年奉公したばかりで、何んにも知らなかつた自分が、お蔭ですこしづゝ分かつて来た。分かつて来たから一そう面白くなつたのかも知れない。これも偏に世の理解ある人達が、其の資金を寄附して下さつたからだ。有難い、！

まだ／＼社会には救はれない多くの病友が、土蔵の中、納屋の中にかくれて、三度の食事が二度になる事もあらう。人眼をしのんで御飯を運んでいただき、一冊の雑誌、一片の新聞紙をも何度も／＼くり返し／＼読んで、夜は鼠が足をかぢりにくるかも知れぬ。あたりがいやに変なほひがする様だ、今私の目の前にこの状態がちらつく。

愛生園に家が足りない為に、こんな人達を多く入れる事が出来ないと思ふと、私達はぢつとしてはゐられない。十坪住宅

によつて、こう言ふ人達が救はれるのだ。最早建てられた住宅にあつて百五十名の人達が救はれた。

まだくこれからだ。もつとく住宅を建てさせて頂かなければならないのだ。新らしい住宅を建てる事が私達の生命であり、悦びである。不自由な重病の人達にくらべて、私達は病気とは言へ、まだこうして仕事が出来る苦痛の少い肉体が与へられてゐる。どうして目的なしに与へられやう。それは住宅を建てる為に与へられてゐるのかも知れぬ。社会の理解ある尊い人達の御心をついで、少しでもすみ心地の良い家を早くたくさん悦び合つて作る事が、私達大工の与へられた使命であり、短い人生のコースを飾るものなのだ。そうだくくいくら達者で、長生をしても、私達は五年先は自分の病気がどんなに変つて仕事が出来なくなるか知れない。わづかの間だ。時は我生命だ。帰らない時はどんく行つてしまふ。生命にかはるべき与へられた使命、生命の果！そうだ生命の果が使命だ。生命の果を十坪住宅として、一日一日を残して往くのだ。私は何年後に死ぬか知れぬ。其の期間は短かいにしても、それに代るべき形をのこしておきたいのだ。これは人事でない、自分の事なのだ。

十坪住宅建築と言ふコースが、我生命の走り行くコースなの

だ、（これ迄私は十坪住宅とばかり書いたけれ共それは、十坪ばかりではない。十坪半の家も、十九坪のもある。小住宅の事を私は十坪住宅と書いたのだ。）

愛生園に来て、始めて曲尺を取つて、家をたてさせてゐた悦びに溢れたある日の感想日記を書くとしよう。

三月十七日（金）曇り

大工小屋の前に、ずらりとならべた三十本の柱、四時迄に全部番附をつけてしまつた。先づ柱々によつて、良く見える方で美しい面を出す様にして、又後の仕事の楽な様見当をきめる。これで全部柱に名前（番附）もついた。

ほノ一、いノ一、ろの三等の良い所からとつて行く。晩迄にまあ命名式がすんだ訳なのだ。こんどはスミをつける段取りとなるのだが、明日のたのしみ、名前もつき柱々の場所もきまつた。りノ三や、ちの二の柱よ、お前は便所の方ですこし臭いががまんしてくれ。お前には最早定められた運命だ。もうすこし美しく生れたら、座敷の方にも出られるのにとなげくなよ。お前の役目はお前に丁度いゝのだ。座敷に出る柱より、お前の方がよつぽどすきだ。おれもお前に似た人間にならう。お前もなければ家はたゝないのだ。どの柱もみんな良い、みんな良い柱だ。自然のまゝに、すくくそだつた杉

の木だ。丸身あつてよし、節もあつてよし。競つてはあけな  
い。いやおとなしい。かうしてずらりとおとなしくなら  
んでくれる一本々々。みんな重い役目が負はされたのだ。み  
んな朽ちる迄、良く堪えてくれ。かうして、おれのなすま、  
に、どうでもなるお前達。お前達の前に向ふ時、涙のこぼれ  
さうな程うれしい。お前達の背中の上で、一晚中でもねこん  
でゐたい様だが、又明日来る。さようなら。

### 外国人の見た十坪住宅

愛生園を訪問せる一外国人の感想

(昭和8年4月9日大阪朝日新聞所載)

アルゼンチン、ロザリオ市ナショナル、大学教授レプラ研究  
所長ゼー、エム、フェルナンデス博士は、十五日午前十一時  
四十七分着岡山県久郡裳掛村国立癩療養所長島愛生園を視  
察したが、同氏は語る。

昨秋アルゼンチンレプラ協会からの友情使節として、又世  
界の癩療養所研究視察のため故国を離れハワイから支那、  
印度、南阿に向ふ途中日本に立寄つた。日本の療養所の科  
学的施設の完備には全く驚き入ります。特に愛生園の十坪  
住宅は全く世界に比のない癩患者の愛の巣であつて、帰国  
後は早速この種の施設に力を入れる考へである。

### 社会の反響

同胞の家十坪住宅の計画提唱せらるゝや、社会の同情翕然と  
して集り先づ地元の岡山県婦人慈善会では、直にその趣旨に  
賛同せられ、一棟分の四百円(当時は一棟の建築費を四百円  
としてゐたが、その後物価騰貴の為五百円に変更した)を寄  
附された。早速入園者木工部の活動により、昭和六年十二月  
二十三日上棟式を挙げ、その御厚意を永く記念するため慈岡  
寮と命名。少女数名を住はしめた。

次に宮内省方面では、皇太后陛下の思召もあることゝ、特に  
御力を入れられ、木下総務課長、白根内匠頭の実情御視察に  
より、「互助」(宮内省互助会発行)に檄を飛ばして、月々一  
棟の十坪住宅寄附を計画され、既に今日迄五棟の住宅が建て  
られたのであるが、この御寄附は上は大臣及宮中奥深く奉仕  
せられる女官より、下は小使に至るまで、宮内省に関係せら  
れる総員の尊い御志の結晶である。宮内省発行の「互助」の  
中には既に落成した、第一、第二、第三、第四、第五千代田  
寮の写真と共に、次の如き記事が載せられてゐる。

宮内省互助会発行「互助」より

皇太后宮御歌

つれづれの友となりても慰めよ

○ 行くことかたきわれにかはりて

これは畏くも皇太后陛下の御歌で、去る十二月二十四日全  
国の癩療養所其他の関係員に賜つたものである。陛下には曩  
に薄倅なる癩患者の身の上をあはれませ給ひ、日夜御軫念、  
供御、御服等御日常御節約あらせられ、多額の御内帑金を御  
下賜あらせられた。

而して今亦かゝる御歌を賜つて、世にも氣の毒な癩患者を  
慰め給うたことは、誠に以て恐懼の至りである。

私共宮内職員は此の不幸なる人々を慰め此の大御心に副ひ  
奉るべく、先に募金した処岡山県の国立長島愛生園に対して  
金貳千百參拾四円、東京の全生病院に対して金四百七拾壹円  
の喜捨があつた。

全生病院の方は患者が通ふ石の舗道をこしらへ。愛生園の  
方は患者を收容する病舎の建築費に充てるためである。

○ 此写真は私共宮内職員の手で建てた愛生園の病舎で、名も  
千代田寮と命名、第一、第二、第三、第四、第五と棟をつら  
ねて建てられた。其の壯觀、いやそれよりも嬉しい何とも言  
へない心持。

○

一戸で六人を救ふことが出来る、今迄に五戸分を送つたか  
ら吾々宮内職員の手で三十人を救つた訳だ。うれしい、ほん  
とにうれしい。

今後もつとく救ひたい。

又「互助」中には学習院一生徒として、献金袋の中に次の  
如き書面を入れてあつたことを示されてゐる。

私も生来虚弱な体ですが、唯自己の弱い身体の中にも力強  
い信念を以て日々生活してゐます。皆様の御病氣には御同  
情いたします。併し皆様の価値は、決して外観や何かで決  
るべきものではありません。人格的価値は、唯信念により  
てのみ決るものです。どうか恵まれざる御体の中にも強い  
信念を以て御暮し下さい。終に御健康を祈ります。(原文  
のまゝ)

洋罫紙三分の一にペンを以て書かれてゐるが、その心底か  
ら迸る同情に対して、感激の外はない。

木曾御料林に働く木挽より

拜啓

同胞の家寄附金として本年第二回を募集致し、別紙寄附帳  
通り送金いたします。此寄附金は、日稼労働者一日の収入一

円以下位の者の寄附金であります。五月募集に着手、今日漸くお送りする次第であります。

一般当地方にては、同胞の家建設寄附なる事を知らざる人が相当沢山あります。外の県でもこの事を知らぬ人もありません。今少し一般に働きかけて寄附金募集をしては如何ですか。

婦人の友社の紹介は、相当の成績をあげてゐるやうです。出来るだけ沢山募集せられる様お願いします。

木曾帝室林野局木曾支局三殿出張所（与川材木事務所）

羽仁もと子氏の主宰する婦人の友社では、夙に救癩の事業に理解を持たれ、昭和六年六月号に「悲しめる癩者」と題して、羽仁説子氏は癩者の悲惨を憫へられたのを機として、その年のクリスマス、プレゼントを救癩のために集められる運動を起された。その後千七百余円の送金あり、それによつて第一友の家（二十二坪）、第二友の家（十八坪）の完成を見た。婦人の友社ではわざわざ記者を特派せられて、その実情を詳しく昭和七年四月号及十一月号に報告されてゐる。

日本M、T、Lにては賀川豊彦氏の一粒の麦映画会を催し、その利益金八百円を送つてくれた。之に依つて真愛寮（十九坪）一棟落成。

岡山県庁の高等官一同は醸出により一棟寄附、後楽寮と命

名、兵庫県飾磨の富豪平野亀之助氏より千弍百五十拾円、これによつて飾磨寮廿四坪一棟落成、永らく大正天皇の侍従武官を勤められた、神戸の奥村少将を中心とする兵庫県癩根絶既成同盟会からの寄贈千四百円、その内、第一兵庫寮（十八坪）一棟落成。

毛利公爵夫人より、五百円寄附され、それによつて、毛利元就公遺言の「百万一心」に因み、一心寮と命名、大毎慈善団にては、かねてから救癩事業の助成に努められてゐたが、三浦環女史慈善独唱会を昭和七年七月九日に催され、その利益を愛生園に寄贈あり。難波寮と命名された一棟十八坪の家が落成した。

その外、倉敷労働科学研究所の暉峻博士以下一同より一棟分寄贈、それによつて、労研寮落成。

岡山市の菅輝子氏より、一棟分寄附。奈良県丹波市天理教管長が、毎年誕生日に一棟宛、向ふ五ヶ年に互り五個の十坪住宅を約束せられて来た。

京都の聖書研究会より一棟分五百円寄贈。愛生園医官林文雄博士嚴父より一棟分寄贈。西宮市神戸女学院のG、Rクラブの女生徒より一棟分と、次のやうな有難い書信をいたゞく。

神戸女学院の生徒さんより

お寒さ厳しうございます。折柄園長様お始め愛生園の皆様にはおさわりも御ざいませんか、お伺ひ申上げます。私共はキリスト教主義のもとに建てられて居ります、神戸女学院女学部の生徒で御座います。私共四年、五年生の有志の者が霊育、智育、体育、奉仕の四つの目的を精神としまして、G、R、クラブと云ふものをつくつてゐます。昨年のクリスマスに際しまして、何かお気の毒な方のために奉仕したいと考えました時に皆の意見が一致いたしましたして長島に御家を建て、差上げるために働こうと云ふことになりました。私共の働きは小さうございましたが幸ひにも、神戸市外御影町に居住の小泉秀吉様、同夫人初瀬様お二方の御熱心な御援助によりまして、此度四百円の御金を集めることが出来ました、同封の為替にてお送りいたしましたからどうぞ御受納遊ばして下さいませ、そしていろく御面倒でございませふけれども、一日も早くお気の毒な家のない御病人様にお家を建て、あげて下さいませ、私共はそこに皆様に住んで下さることを考へますと、本当に嬉しくなりません。園長様はいつも献身的愛を以て園の尊い、けれど大変難しい御働きに日夜お尽し下さいますお話を、先生から伺ひまして一同深く感謝して居ります。此後も私共は愛生園の皆様のために、小さな祈りを捧げ

させて頂きたいと存じて居ります。どうぞ世のため、人のために益々御自愛遊ばして下さいます様お願い申上げます。園の皆様によりしくお伝え下さいませ

かしこ

昭和八年二月十六日

神戸女学院G、R、クラブ

代表 内海律子

愛生園々長様

× ×

京都基督教婦人会では、曩に太田少将閣下の御斡旋により、京都市内三十名の癩者救済を目標として、十坪住宅五棟分募集に着手せられ、この程集金了り、参千円を携へて会の代表者駒井静子、松山初子、澤野くにの三女史来園、平安女学院の松山女史は入園者一同に向つて、「皆さんはこゝに於いて大いに日本のために祈つてゐたゞきたい、私共は及ばず乍ら外から働かせていたゞきます。今日もつて来ましたお金も額は小さいものですが、お産の時の氷代を節約したり、車代を節約したり、又タバコを廃して節約したお金を送つて下さつた学生さんもあります。真心のこもつた血の出る様なお金であることを知つていたゞきたい」と激励されたのである。や

がて翠色濃なる島山に六棟の平安寮が出来ることであらう。その他、幼稚園の生徒、女学校生徒、車屋、按摩、学生等の尊い同胞愛の結晶、合計二四、二八五円〇四銭を得た。入園者一同と共にその金にこもる精神に、美しい同情に感激を獻げたい。

この中には入園者よりの寄附金が、三棟分含まれてゐる。彼等は、乏しい財布の中より割いて、十坪住宅運動に投じたもので、その一名の入園者の如きは父の菩提を弔ふ意味にて、その命日に寄附を申出て手続を終えたもの。奇特のこと、感じ入る次第である。

#### 十坪住宅運動に参加せよ

諸氏の市邑に癩者なきや？

昭和五年の調査に依れば、癩者一万四千二百六十一人とあれば、全国一万二千の町村には各一名余りの癩者が潜むこととなる。秘かに山奥の茅屋に、日の光も入らぬ土蔵に救の手をまつ悲しき人の姿を見出した人は必ずや、救癩の急務を知らるゝであらう。

そのむくれた顔、異様な臭気、さては陰惨な家庭の状態、伝染の危機にさらけ出された可憐な児童の様を実見するに及んで、この事業の等閑に附すべからざるを悟られるだろう。

もしそれ市井の駄菓子屋、飲食店が癩者により経営さるゝ、実例を知るに及んでは、愕然として驚かるゝに違ひない。見えざる危険の手は伸びてゐる。

先づ足下の癩を潔めよ。諸氏の市邑の癩者をして療養所にいらしむるべく十坪住宅の運動に参加せられんことを望む。省れば我等の先祖はあまりに無智であつた。

徒らに癩を恐れるのみにて、如何にして癩を救はんかとの根本策に疎かつた。三千年間放置されてゐた救癩の大事業は、たゞ政府当局及一部の先覚者にのみ任せて解決し得るものではない。国民相互の協力理解に依らずしては決して解決しない。

同胞愛の警鐘は鳴る。……御仁慈に富ませ給ふ我皇室御自ら癩者救はざるべからず。癩病潔めざるべからずとの御手本を示し給ふた。

世は非常時、政府の経済は到底十分なる療養所の拡張を許さざるの時、我等は手を拱いて門外に救を求むる病者を無下に拒み得やうか、目下の窮状を打開する唯一の癩救済の道は、国民の理解と病者の協力とに依る十坪住宅運動あるのみ。

かくして悩める友を暗黒より救ひ、過去数千年間我国民の苦しみの種であつた癩を潔めることは、現時の我々の採るべきコースでなければならぬ。而して次代の日本には潔き血肉

と同胞愛の美しき精神を驢としやうではないか。

〔附〕略〕

## 二五八 「同胞の家」建設事業略譜

（愛生編集部蔵『愛生』第四卷第五号、十坪住宅建設寄附金

三万円突破記念号 昭和9年）

「同胞の家」建設事業略譜

山田清成

事業の概要

昭和五年十一月新設された国立療養所、長島愛生園は、六年三月二十七日患者収容開始後僅々四ヶ月にして、四百人の定員を超過し、当分収容の門戸を閉鎖するの止むなきに至つたが、而も入園を希望して非情の鉄扉を叩く者踵を接し、来るもの拒む者共に涙あるのみの状態であつた。

然し長島愛生園の拡張は議会の協賛其の他の手續を要し、直に之が要求を充す事が出来ない実情に鑑みて、長島愛生園慰安会は一棟四百円（昭和八年以後五百円）の予算を以て建坪十坪の患者住宅を建築し、其の落成を俟つて国に寄附し、依つて患者収容難を緩和するの計画を樹てた。実に昭和六年十一月である。

かくて汎く江湖に向つて、建築資金の募集を為したのであるが、爾来上下の同情翕然として集り、今や寄附受納額は、三万円を越ゆるに至つた。

従つて建物は漸次建築せられ、竣工の住宅は順次国庫へ寄附せられてゐる。

日本内地には、現に一万五千なる多数の重症癩患者が居るが、療養所内に入所せるものは、僅かに五千三百余名であつて、本邦の癩予防施設は、漸く黎明期を見たるに過ぎない現状にある。

今長島愛生園は、定員七百三十二名を以て、八百七十三名（九月八日現在）を収容し、超定員正に百四十一名を算するが、之が為必至の住宅難は、一に十坪住宅の新築に拠つて緩和されてゐる。

斯の事業は、癩予防施設の充足を期して、益々緊要度を累加し來つた。今後一層江湖の汎き後援に俟つて、其の大成を庶幾するものである。

## 二五九 「同胞の家」建設のために

(愛生編集部蔵『愛生』第四卷第五号、十坪住宅建設寄附金

三万円突破記念号 昭和9年)

「同胞の家」建設のために

主催者 長島愛生園慰安会

文明国に癩なし！ あるはたゞ日本のみ！

根本的絶滅のために！ 拾銭を投ぜよ！

癩者に安住の地を与へよ。

日本には一万五千の重症癩患者が居るが療養所内にあるものは僅かに三千五百で全数の四分の一に過ぎない。新設せられた国立長島愛生園は開園後僅か四ヶ月で四百人の定員を突破し当分収容拒絶の状態である。

もうこうなつては我々民衆が動かなくては何も出来ない。この際第一の急務は癩者に入るべき家を与へることである。幸ひ愛生園では民間の寄附による家屋を受け一人でも多くの病者を入れる計画が立案された。

上掲の小屋は十坪五百円のものではあるが、なほ二夫婦を入れ又子供であるならば優に八人を入れることが出来る。我等は諸君の祖国に対する又同胞病者に対する愛の献金によつて「同胞の家」を建設して寄附家屋の先鞭をつけ以て国際的国

辱病たる癩の絶滅運動を促進せしめんとする。十銭五千人で出来るこの計画を一日も早く実現せしむべく諸君の奮起を望む。

## 二六〇 十坪住宅運動の生命と価値

(愛生編集部蔵『愛生』第四卷第五号、十坪住宅建設寄附金

三万円突破記念号 昭和9年)

十坪住宅運動の生命と価値

事務官 四谷義行

十坪住宅運動が、他の疾病の予防事業に魁けて、癩事業の為に試みられ、而も我が愛生園に依つて、創められた事は、我が癩事業の誇であり、愛生園の喜である。蓋しその規模に於て、最も実用的にして、実現性の容易なる斯種簡易なる建物の顕現は、他の疾病の予防事業の上に於ても、共通の必要性があるにも拘らず、未だその事なくして、今日に迫んでゐるからである。

されど、我が愛生園の十坪住宅運動の生命と価値とは、上記の一点に止るものでない。否その生命とする所は、実に下記の諸点に存する。

曰く、その一は、患者の持する犠牲奉仕の精神と、報恩謝

徳の念願との凝結せるものなる点である。

十坪住宅運動に依つて、直接の恩恵を蒙る者は、在園患者に非ずして、寧ろ社会に残された患者と、その周囲に於ける健康者であり、在園患者はその為に却つて、衣・食・住の総てに亘る生活資料の割愛を忍ばねばならぬ結果となり、生活標準低下の招来を覚悟しなければならぬ。而も本園患者の全員が、敢てこの運動に欣然参加し、就中その実際の建築に當つては、病襲の弱きを顧みず、奮然之が現業遂行の重責に任じつゝある所以は、実に彼等の間に、燃ゆるが如き犠牲奉仕の精神と、国家社会に対する報恩謝徳の念願が厳として存すればこそである。

曰く、その二は、一般民衆より寄せられる絶大なる理解と同情の賜なる点である。

蓋し、本運動の資金、換言すれば、住宅建築費が、挙げて社会の喜捨に俟つ以外、その途なき一事に依り、自ら明白である。而して特に畏くも、皇太后陛下の御思召を奉戴せる宮内省関係者其他よりの格別なる御援助は、本運動上、正に特筆大書に値する事実である。

曰く、その三は、政府の諒解に依る特別の取計ある点である。

何となれば、政府の十分なる諒解なく、従つて翌年度の經常増額等の事なくば、折角建築した十坪住宅も徒らに銹腐となり新患者を容るゝに由ないからである。

我が愛生園十坪住宅運動は、実に上記三点に真箇の生命を宿す。而もこの三者は、各独立するものに非ずして、結合せるもの、若し夫れ、その一を欠けば、本運動は成立たない。蓋しあらゆる疾病、就中伝染性疾患の予防根絶に必須不可欠なる、上記三点の結合は我が十坪住宅運動に於て、最も切実に表現せられたものと謂ふべきである。

惟ふに、十坪住宅運動は癩運動の総てを悉したものである。又癩療養所の建築を、挙げて本運動に俟つは誤である。而も猶本運動が癩運動中最も重要な事項の一なり。更に進んでは、他の疾病の予防事業に対しても、聊か他山の石たり得る事を信ずるものである。

吾人は茲に、十坪住宅資金三万円突破記念号の巻頭に当り、光田園長以下九十の職員と、九百の患者との共に持する所信の一筆を披露し、併せて向後本運動が、一段の飛躍を遂げ、癩が浄められる日の速かならむ事を黙禱して、筆を擱くものである。

## 二六一 十坪住宅運動の回顧(1)

(愛生編集部蔵『愛生』第四卷第五号、十坪住宅建設寄附金

三万円突破記念号 昭和9年)

## 十坪住宅運動の回顧

園長 光田健輔

癩は伝染である。打ち捨て、はをけぬ、中学校・女学校で癩の話をする、直ちに此の市から此の村から此の部落から、其危険を除きたいと云ふ。政府はなぜにそんな危険なものを放つてをくのであるか、伝染病なら、早く伝染病院に入れ、ばよいものを、と若き人達が叫ぶのである。併し古き人達は言ふ、あの家は昔から代々出るのである、今更其筋がなくなる筈がない、芋蔓に芋がなるに何の不思議があらふかと。斯様の迷信が日本の国を支配して、数百年乃至千有余年に及んだ。癩根滅の資金は出せば出る金である。併し口実を設ければ何とでも逃られる、かくして今日まで癩の徹底的の隔離<sup>ママ</sup>が延びたのである。明治産れの病者が最も多く、大正此に次ぐ、そろそろ昭和産れの病者が出来る、此等は自分達の努力が足らなかつた為であると責任を感じる。併し北山の愚公が年七十にして山を移した故事や、岩にたつ矢の例もある事である、若き人々に訴へ、此の根絶せしめ得べき事を、くりかへし繰

り返へして、千年もこびり着いた、陋習を改めさす事は全く絶望ではない事が、此頃漸く立証せられた、それは十坪住宅の運動によりて三万千八拾五円八拾五銭を、昭和六年十一月から昭和九年八月末日までに得たからである、此の金が拾銭袋を基本として集められた、各地の名も明かさぬ多くの民衆から、上は宮中のやんごとなき殿上人、各知識階級、学校生徒及び宗教団体等から集められた尊い金である、そして其拾銭が一厘も漏れる所なく、十坪の工事費に費される寄附金の速さは、とても患者の労働力のみにては工事が捗らぬ、去りとて日月を空費する訳に行かぬので、一部は外の大工をも頼んだ処もある。併し大体は患者の労働に待つ方針である、そして水道・電灯迄取り付けるには、一坪五十円の工費では出来兼ねた所もあったが、幸に些細の超過は小口の金によりて補充せられた、そして其命名に就ても寄附者の因縁あるものを撰んだけれども、全く多数の力の集合で出来た中性の名もある訳である、そして全部慰安会の名によりて国庫に寄附せらる、運命にある十坪住宅であるけれども、全部我等を信頼して委任せられたものであるから、金銭の募集費とか設計監督費とかを要しないで出来た、愛と信と望の結晶である事を思ふ時に、我等は癩が伝染である事は漸次に世間一般に認識

来りつゝある事を感謝せずには居られぬ。この運動は我が療養所が率先して始めた運動であつたけれども、近来我が兄弟療養所たる草津の楽泉園にも波及した事は悦ばしい事である、今や草津に於ては群馬県有志者の寄附、癩予防会の計画によりて多数に建築せられつゝある、却て此計画は草津に於て先づ創められたと云ふてもよいのである。回顧すれば、自分は大正十二年ヒリツピンに於て米国人が建てた五千人を収容した「クリオン」療養所を見た、当時クリオン島に政府の家屋としては二千人を収容するに足る丈の建築物であつたが、有力なる患者が僅か六拾円で「ニツパ」葺の小屋を作り、自分の内に裕々と住んでいるのを見た、斯の如き患者が三千人もある、我が国では当時一人当り五坪で千円の建築を要し、土地及び調度を合すると千五百拾円を要した、即ち一人千五百拾円の収容設備を要した、若し草津の如く癩に予約せられた瀧尻平野の如き所に、此の如き簡易の住宅が出来たらば国家の経済であると考へた。当時服部女医、三上看護婦は「バルナバ」病院に働いて八ヶ年の契約年限が切れ、独立此事業に当らん事を念願し、今の栗生楽泉園の場所にある彼女達の住宅を以て事業を始めんとして、土地買収の援助を依頼して来た、兩人とも全生病院に奉職した堅実なる人物であつ

た、私は先づ第一にバルナバ病院に復帰する事を極力勧めたが肯なかつた、遂に已むなく今の湯の沢の郵便分室の家屋にて事業を創めたが、不幸にして服部女医は僧帽弁閉鎖不全の為に昇天した。茲に於て事業は頓挫したけれども、三上看護婦は服部女医の遺言を重じ、草津に於て癩の救護事業を遂行する事を念願し、遂に瀧尻沢の雪を掻き分け飲料水を捜し、此処に鈴蘭園を開拓せんと欲し、東京の知己に援助を乞ふた、自分は草津には明治三十年頃から癩の事で毎年の様に出入したもので、服部女医の知友や在京の諸友に紹介して、祈の家や光の家が出来た、此れが抑も住宅運動の始めであつた、次に後藤静香氏が大正十四年四月三十日私と共に草津を訪問して、此運動の援助を約し六月神宮外苑青年会館で癩予防絶滅運動を始め、此年全国に此雑誌にて呼び掛け拾銭袋を配布し、其十二月には竣成したる五軒の家屋約百坪の代として、寄附金として集りたる七千円を払ふた、此家屋は今の官舎のある瀧尻原にあつて、三上君は鈴蘭園と呼んだ。一時癩患者の入院を請ふものもあつたが温泉が遠いのと、後援が続かぬので三上母子は草津国立療養所設立の時に、潔く此瀧尻の家屋を癩予防協会に引継ぎ立ち退たのである、今楽泉園の自由区域に真先に出来た小住宅は、鈴蘭園家屋の移転改築せられたも

のである。鈴蘭村の果敢なき落城は余りあつけなき感あるも、癩予防の側面運動として癩予防協会設立を促進したる多少の効果はあると思ふ、これが本邦に於ける癩小住宅運動の先駆であつた。

朝鮮に於ても癩予防協会が目覚ましき働きにより、百六拾万円の基金を得た事は近來の快事であるが、其以前希望社の民間運動として志賀京城大学前学長が活動せられて、小鹿島の南部落に二戸の家屋が寄附せられて、朝鮮予防運動の先駆をなした事は記述して置かねばならぬ。癩予防協会が設立せられた昭和五年以来、民間の運動は次第に下火になつた様に見える、誠に希望社の没落は大なる損失であつた、併し元の希望社の会員であつた人が癩の救済運動に対して最も理解を以て世話せらるゝ事は、我々が今尚各地に於て目撃する所である。

次に癩予防協会の活動が毎年盛んになつた、此運動が進めば進む程癩の救助が必要となつた、各療養所は常に定員超過に苦んで居る、以前百人の増員の場合にこれを充実するには、一年も半年も費した事を思へば隔世の感がある、而して警察で金や太鼓で駆り出しては動かなかつた患者が、今では自ら療養所に殺到して来る。これを一々拒絶するとなると、由々

敷大事に立ち至らざるを得ない、緊急不得已收容である、人命の救助である、此意味に於て十坪住宅は、癩の予防宣伝と同時に作らねばならぬ緊要事件となつて来た。そして何人も此運動に参加し得ない人はない位に目的と方法が明瞭である、即ち信じて拾銭を投ずる事により癩絶滅の希望を達し、而もそれが直ちに大愛の精神を社会及患者に齎すからである。

## 二六二 十坪住宅の入舎規約

(愛生園蔵「住居二関スル件」昭和14年)

### 十坪住宅二関スル入舎規約

- 一、一棟分寄附額金二千円トス  
〔朱書〕  
「国庫ニ寄附セシモノニ付、其ノ帰属觀念ヲ要忘却」
- 二、半棟分寄附額ハ当分ノ間金五百円トス
- 三、一、ノ所謂一棟トハ二室分ヲ指シ、其ノ畳数ハ一室六畳敷ヲ原則トス
- 四、本住宅ハ原則トシテ夫婦者ヲ入舎セシム
- 五、一棟分寄附者ト雖モ(他ノ一室占拠ノコト)、一室ノミニ付居住スルノ特権ヲ保有セシムルノミ、但シ、他ノ一室ニ付入居セシムル者ヲ指名スルノ権ヲ附与ス、但シ、

一回限

- 六、一棟分寄附者ハ勿論、半棟分寄附者ト雖モ其ノ内縁ノ者ニ関シテノ取扱ハ、其ノ寄附者ノ死亡又ハ退園ニ依リテ、其ノ権利ヲ享受セシメザルコト、此ノ場合ハ大体二十日間ヲ限り之ヲ他舎ニ転出セシム
- 七、内縁者ニシテ寄付セサル者ノ母等ノ如キ縁故者ト雖モ、残存ノ内妻他ト内縁関係ニ入りタルトキハ、諭示退舎セシム

二六三 十坪住宅の借用内規

(愛生園蔵「住居ニ関スル件」昭和13、14年)

十坪住宅借用内規

- 第一条 十坪住宅(十坪以上の住宅にも適用)の建築費の全部乃至一部を寄附し、住宅完成の場合直ちに国有財産に編入せらるるものとす。
- 第二条 寄附者の請願に依り十坪住宅一棟乃至半棟を借用することを得。
- 但し、借用権は一室につき二人以下とす。
- 第三条 夫婦者入舎せし場合は、一方死亡したる時と雖も他の一方存命中は引続き借用を認め、双方死亡せし場合は

は如何なる場合と雖も、個人的借用権を継続する事を得ず。

- 第四条 親子入舎の場合又兄弟姉妹にして入舎の場合も、前条夫婦者の場合に準ず。
- 第五条 入舎は一室に二名を原則とし、不自由者待遇はいづれか一方に限る。
- 但し、一室一人居住の場合は不自由者待遇を認めず。
- 第六条 一棟寄附舎の場合は、原則として隣室には寄附者の入舎を認む。寄附者に於て一ヶ月以内に適当なる希望者なき場合は、順番夫婦者を入舎せしむるものとす。
- 第七条 一棟寄附者にして寄附者双方死亡せる場合は、前条第一項に依る隣室居住者は退舎するものとす。
- 但し、仮居住夫婦者の順番舎の順位は之を継続するものとす。
- 第八条 入舎許可者と雖も逃走・退園又は園則に違反し退園処分を受けたる場合は、其の資格を喪失するものとす。
- 第九条 其の他不都合の行為に依り、園則に違反せし者にして退園せざると雖も、其の資格を失することあるべし。
- 第十条 寄附者に於て取扱ひに対し異議ある場合は、常務委員会及評議員会の議を経て園長の決裁に依るものとす。

す。

以上

## 二六四 国立移管と十坪住宅運動

(楓編集委員会蔵『楓』第六卷第七号 昭和16年)

### 国立移管と十坪住宅運動

園長 神宮良一

既に前月号に記載せる如く、光明園は去る七月一日を以て国立に移管せられまして、今迄第三区府県立として、京都、大阪、兵庫、奈良、三重、滋賀、岐阜、石川、富山、福井、鳥取及び和歌山の、二府十県より年々数十万円の費用を出して、当該府県より送致の患者を收容するのが本来の目的でありましたが、近年無癩県実施の所が次第に多くなり、一方各地の療養所も満員となり、勢ひ空席のある本園は各地から申込みもあつたのですが、一々それは管理者たる大阪府知事の許可があつて收容が出来る運びとなるので、その間に色々と面倒があるのでしたが、七月一日からは日本国中どここの患者も收容できることにはなりましたが、之に反して、今度は收容余力がなくなりつゝある現状であります。一千人の定員が三年が、りで尚余猶がありました。今頃では元関係府県でも

無癩運動が盛となり、日に日に收容があつたために、今日では僅かに十人しか定員には空床がありません。然し尚幾人かの超過は余地があると思ひますが、然し此のまゝではすぐ生きづまることは火を見るよりも明らかであります。今日まで定員充実に努力致しましたが是れからは、その超過を如何にして收容するか、目前の問題であります。此れには所謂十坪住宅運動が必要です。

政府に於ても尚五千床の拡張運動はやつて貰はれることでせう、目下の急を救ふ為にはどうしても十坪住宅運動、即ち政府の手にならない所謂社会の人によつて、住宅を建て、行くことが必要となりました。愛生園設立当初は十坪住宅も四百円であつたものが、五百円となり六百円となり七百円、千円、千五百円、二千円となつても、尚物資の入手に困難があると聞いて居りますが、然し一人十錢づゝの運動でも、或は一般社会的に大住宅の建設も出来ること、信じます、無癩県促進と共に住宅建設の急を又必要とするのであります。旧関係府県は此後とも主として本園で收容することになります。二府十県に於ても、尚一千三百余の未收容患者があるのです。どうぞ二府十県の関係府県その他一般的に住宅建設の趣旨を諒とせられて御助力の程を希望致します。然して無癩

府県が出来、そして無癩日本が出来上り、東亜共栄圏より癩を駆逐する日もそう遠いことではなからう。

## 二六五 十坪住宅運動の回顧(2)

(愛生編集部蔵『愛生』第十三卷第十号 昭和18年)

### 十坪住宅運動の回顧

光田健輔

昭和六年三月二十七日、本園収容を開始するや、数ヶ月を出でずして四百名の定員を超過し、尚入園希望者は陸続として絶えず、収容を拒絶せられ岡山市旭川に身を投じて死する病者も出で、政府の設備せる病棟にては到底収容し切れざる超満員となつた、茲に於て慰安会事業として大方社会の同情に訴へ、病棟建設資金の募集運動を昭和六年十一月起せり、然る処 畏くも皇太后陛下の御下賜金による恩賜寮、東伏見宮妃殿下の梅ヶ香寮を始め奉り、各方面の御理解・御援助に依り、昭和十八年九月末日迄に二四万七〇〇七円四〇銭の巨額の寄附金を得、之により大小の所謂「十坪住宅」一四九棟を建築の上国家に納付せり。現在二千名の収容患者中、政府の設備せる病棟は七百名分に過ぎず、残余の千三百名は大方社会の御同情・御理解による住宅に居住し居る現況を思ひ、尚十坪住宅運動は本園に端を發し、各地の療養所に及び癩運

動史上に寄与するところ大なるを思ふ時に、本運動に対し賛意を表し御援助ありたる方々に對し、万腔の謝意を表する次第なり。

茲に本園十坪住宅運動を四期に分ち、昭和六年より昭和九年分第一期に就き回顧し、大方の御厚志を偲びたいと思ふ。

同胞の家十坪住宅運動とは、十坪単位の簡易なる住宅なれば、入園者木工部の手にて四百円位にて建築出来(現在にては一棟二千円にても建築不可能)、それに四、五名の病者を収容しうると云ふので、その經常費は入園者一食半座を割く事により抛出したのであつたが、定員より三割の超過の經費支出は、当時澎湃たりし自由思想に煩され、入園者は昭和十一年遂に不祥の騷擾事件勃發し、その処置に就ては本省奥村理事官・県特高課長等が苦慮されたが、結局爾後は大蔵省に於てその經常費は第二予備金より支出しうる道拓かれ、十坪住宅運動の前途に一大光明がさして来たのである。扱、六年より九年に到る第一期に於て、大口寄附六〇口二万九八八三元〇七銭、小口寄附五八七〇口三九二三円一四銭、合計三万三八〇六円二一銭なり。

〔後略〕

## 2 寄せられる寄附

### 二六六 「癩同胞の家」と寄附者一覧

（愛生園蔵「十坪住宅寄附関係書」昭和8年）

「癩同胞の家」建設の願い

国立癩療養所長 光田健輔

今年六月二十五日吾が徒は、日本全国都市六十三ヶ所に於て癩根絶期成同盟大会を開き、癩に対する遺伝の迷信を打破し、其の伝染の危険の大なる事を絶叫して数十万人の賛同を得た、夫れかあらぬか、各府県立癩療養所の入院者激増して定員超過を来し、新設国立癩療養所長島愛生園の如き、四百名の定員を突破すること七十名、更に尚八十名の入院希望者は、一日も速かに入院の許可を待ちあぐみつゝある。而も経費の関係上、其の切なる希望も容易に達せられそうにもない、蓋し彼等自身及家族が伝染の危険を自覚した結果、最善の方法として療養所を選び、慕らに入院希望をするに至つたものである。内務省は入院を拒絶せよと云う、拒絶した後には於ける彼等の運命は如何なるものであろうか、或る者はすこくと帰り、或る者は一週間も絶食と野宿をなし、遂に附近の人

が見るに見兼ねて廂を貸し食事を与えて居る始末である。斯の如き憐れむべき同胞を、飢餓と露天に曝露して放置し得るか、況んや曩に癩の危険なる伝染病なることを宣伝し、遂に離家の已むなきに至らしめた彼等なるを思うときに、彼等に雨露を凌ぐに足るべき家屋を提供し、恵まれたる長島の地に安住せしむべきは、我等の当然なすべき責務であると信ずるのである。冀わくは「癩同胞の家」の設立に向つて、御同情あらんことを大方諸君に懇願するものである。

（長島愛生園  
患者慰安会提唱）

「癩同胞の家」建設基金募集

- |        |   |
|--------|---|
| 一、募金々額 | 一棟に付四百円宛                                |
| 一、建設場所 | 岡山県邑久郡裳掛村長島愛生園内                         |
| 一、一棟建坪 | 十坪                                      |
| 一、建築経費 | 一棟に付き四百円                                |
| 一、収容人員 | 一棟に二家族〔八名迄〕                             |
| 一、家の名称 | 建設寄附団体又は個人名を家の名称とし<br>永久に記念し且つ本運動の促進に資す |

.....

「同胞の家」建設寄附金収支計算書（昭和八年一月末日調）



岡山県	岡山県婦人慈善会
同	西大寺及福田小学校職員及生徒有志
同	西大寺高等女学校生徒有志
同	山陽高等女学校生徒有志
同	邑久高等女学校職員生徒有志
同	日本赤十字社 岡山支部員三一名
同	岡山実業専修学校 職員生徒有志
同	山陽中央水電株式会社有志四三名
同	菅 輝 子
同	岡山県庁職員有志
同	有志一七〇口分合計
広島県	広島高等師範学校附属中学校生徒三六〇名
同	広島高等女学校職員及生徒有志
同	広島高等師範学校職員生徒一同
同	有志五口分合計
山口県	山口高等女学校五九三名
同	萩高等女学校四〇六名
同	山口市桜田円次郎
同	有志四口分合計
愛媛県	同

宮崎県	都城市財部タネ扱
北海道	札幌市林竹次郎
同	有志六名分合計
台湾	台中市及新巻 有志六名分合計
南洋	ヤップ島 相川助松
園内	某
同	無名氏
同	有志四口分合計

二六七 歌舞伎興行による建設資金

(愛生園蔵「十坪住宅寄附関係書」昭和6年)

謹啓 菊花薫る候愈々御清祥奉賀候 陳者此度尾上菊枝嬢一門の芳志により、別紙の如く、来る十一月廿八日歌舞伎座に於て、「癩同胞の家」建設基金寄附昼興行を催し候、就而は此際趣旨の存する所を諒せられ、何分の御援助頂き度く懇願仕候

敬具

昭和六年十一月

癩病根絶期成同盟会

会長 子爵 三室戸 敬光

会長 了 副会長 了

.....  
尾上菊枝名題昇進披露昼興行

主催 癩根絶期成同盟会

東京府下西大久保四五八希望社内

尾上菊五郎氏門下の才媛尾上菊枝嬢が、女流として日本最初の名題となられたるは、新聞紙上にて御承知の御事と存じます。慣例として鬣肩筋へ御披露の贈物をなすことになつて居るとのことですが、この度は社会的に意義ある行き方をとの深きお考えから、来る十一月廿八日（土）歌舞伎座にて、尾上菊五郎氏の「棒しばり」、菊枝嬢の「京人形左小刀」を以て名題昇進披露昼興行を催し、その全収入を挙げて癩事業に提供されると云う快挙に出られました。

本会はこの快挙申込を受けましたので、早速岡山県長島に、全世界癩患者の慈父と仰がれて居ます国立療養所長光田健輔氏を訪れこの由を告げました。氏は文字通り欣喜雀躍され、深くこの義挙に感激されました。そして是非この機会を逸することなく、癩運動の徹底を期する様にと祈られました。その結果、光田所長の主張に基き

国立療養所 長島愛生園患者慰安会提唱

「癩同胞の家」建設基金寄附 尾上菊枝名題昇進披露昼

興行

と銘打ち、先方の御厚意を御受けすることに致しました。

これにて総ては明瞭と存じます。即ちお求め頂きました会員券は、不幸なる「癩同胞安住の家」となるのであります。

菊五郎氏の出し物、「棒しばり」は定評ある同氏の至芸にて、三津五郎、彦三郎、男女蔵氏等の名優お揃いで上演されます。菊枝嬢の「京人形左小刀」は、同嬢一世一代の晴れの舞台、菊五郎氏の助演と相俟ち又なきものと期待されます。而して之等師弟名優相携え、その神演妙技を以て、世に癩病根絶運動の忽せにすべからざる所以を伝えんとする御熱意に對し、又満場の御同情者に対して、光田所長は誠心誠意「癩同胞の家建設の急務」なる演題の下に、感謝と衷情を述べんとされて居ます。

この名技、この熱演にして、会費は僅か二円、一円、五十銭の破格さであります。これは一人にても多く広く世の同情者に訴えんがためであります。

何卒この誠意の存する所を御賢察の上、この意義ある催しをして、最善の効果を収むるよう御援助、御尽力あらんことを偏えに御願ひ申上ぐる次第であります。

昭和六年十一月

癩根絶期成同盟会

追而 早速乍ら会員券予約を開始致しますから、葉書或は電  
話を以て『東京府下西大久保四五八希望社内 歌舞伎会券  
係』宛御申込み下さいませ。(電話四谷六七八・一七五九番)  
申込願により、指定座席券を御送り致します。

十一月二十八日(土)午後零時半開場、一時開演

於 歌舞伎座 会費 二円、一円、五十銭

一 挨拶 会長 子爵 三室戸敬光

二 講演 「癩同胞の家建設の急務」国立療養所所長 光田健輔

三 口上 尾上菊枝名題昇進披露口上 尾上菊五郎

四 常磐津 「京人形左小刀」 尾上菊枝

五 長唄 「棒しぼり」 尾上菊五郎

坂東三津五郎、坂東彦三郎、市川男女蔵

## 二六八 聖旨奉賛一握会の提唱

(愛生園蔵「十坪住宅寄附関係書」昭和8年)

国立療養所へノ特別奉仕

聖旨奉賛一握会ノ提唱

一、本会提唱の趣旨

皇太后陛下がレプラ奉仕者に賜はりたる

御 歌

つれくくの友となりても慰めよ  
行くことかたき我に代りて

とあるに對し西内牧師の感激の余りになれる

奉 賛 歌

一握の米になりともまこゝろを

こめてこたへん聖きみむねに

の趣旨を實行いたすにありて、女子青年の御協力御尽力  
をお願いしたのであります。

二、主唱者及び發議者

主唱者 西内天行

發議者 小山義太郎 実兼又八 菅田良三郎 栗原政治

浮田信衛 石津末男 家野桂之 岡 繁蔵

林 甚八 小椋寿太 塩見順一 小林隆志

大森正五郎 雪上常太郎 岡崎庸太郎 岸野軻廼

大森とき (以上旭東基督教会理事及評議員)

三、本会の組織

ア 上道、邑久二郡内の各町村長各学校校長各位は、本会

成立保持の援助者として名実共に援助を与えられた

き事

イ 本会の実行機関としては、各小学校の女子青年指導者を以て理事会を組織し、又大字、小字に女子青年委員若干名を指定し、是を理事の統率の下に置く事

ウ 理事長及び常務理事は、民間の愛の奉仕者を推薦依頼し、出来る丈け官僚式をさけること

エ 三月六日地久節の午後を毎年事業報告総会日と定む

四、本会の成立協議会の開催

ア 来 月 日午後一時西大寺高等女学校に於て理事会成立協議会を開きたきに付、二郡各町村女子青年指導者は万障御繰合の上御出席をお願いいたします。尚当日は実行規約の協議をいたしたいのです

イ 当日は国立療養所の代表者に出席を乞ひ、御挨拶をお願いいたします

## 二六九 京都での建設資金募集趣意書

(愛生園蔵「十坪住宅寄附関係書」昭和8年)

京都癩者療養所建設資金募集趣意書

前略 吾国五万余の癩者の救護防止の緊要なる事は、今更申上げるまでもございません。殊に之に就き畏きあたりに、常に深き御思召あらせられます御事に就きましては、毎々新聞

等で拜見致す通りでございまして、真に感激に堪へぬ所でございます。

特に吾が京都は皇国千年の旧き都であり、又世界に知られた美しい観光都市であります。然るに其名勝の境域に、又は繁華の街頭に屢々痛ましき癩患者の姿を見ます事は、誠に遺憾の至りでございます。之を都市の体面美観の点より見ましても、公衆衛生の上より云ひましても、又人道上より考へましても、之等患者は一日も早く然るべき所に隔離收容してここに安住せしめ、且救護を与えるべきものと考へます。

然るに吾が国の現状は経費其の他の関係上、之等患者を收容する設備が甚だ不十分で、全国十四の官公私立療養所内にあるもの僅かに四千四百に過ぎず、残りの九割の患者は民家に又街上にあり、適当な手当てすら与へられない状況にあります。之全く折角隔離に適する土地がありまして、彼等を住はしむべき家の足りませぬためでございます。

私共は之等の点を慮り、殊に婦人として畏き御思召に添ひ奉らんため、微力を顧みず此度左の方法により世の同感の方々に訴へて広く義金を募り、此事業のために聊か貢献致したいと存じます。何卒御賛同の上御助力の程希ひ上げます。

一、目的、京都市の癩者收容の爲め、岡山県長島国立癩者療

養所愛生園敷地内に十坪の家五棟を新設する為、資金約三千円を募集す（各棟に凡そ六人を収容し得）

一、抛金、金額随意、振替其他適宜の方法により事務所（中京区河原町三条上ル大沢幸恵方、振替大阪五八一七九番）又は委員へ御送り願ひます。

一、報告、事業完成の上適當の方法により御報告致します。

昭和八年五月

主催 京都基督教婦人団体

実行委員 十一人〔氏名 略〕

賛助員 三十九人〔氏名 略〕

### 二七〇 児童病舎建設の呼びかけ

（愛生園蔵「十坪住宅寄附関係書」昭和8年）

今年のクリスマス献金は〔癩〕児童病舎建設の為に献げ

ませう

日本日曜学校協会

十坪の家が五百円で建ち 子供が八人楽しく住めます

クリスマス献金を如何に有意義に使用しやうかと云ふ事

は、なか／＼頭を悩やます問題であり、又大事である。今回は、日本日曜学校協会は理事会の決議に依り頭書の如く、日本の児童の為に岡山の愛生園内に病舎の建設を計画し、全国日曜学校教職員並児童諸君の絶大なる御賛助を仰ぐ次第である。愛生園は国立の癩療養所中の最も理想的の施設を持ち、特に未感染児童の為に周到なる研究と努力を払って居られる。

我々熱ある基督者として将又健康なる日本国民として、誠に適當なる奉仕であらう事を信じて特に御願する次第である。「金銀は我になし、然れど我に有るものを汝に与ふ、ナザレのイエス・キリストの名によりて歩め」徒三ノ一一〇

### 二七一 愛媛県からの寄附

（愛生園蔵「十坪住宅寄附関係書」昭和8年）

昭和八年 愛媛県癩病根絶期成同盟会

事務取扱 徳山音三郎〔印〕

事務所 喜多郡□□村

長島愛生園慰安会殿

同胞の家建設資金寄附の件

園長光田先生及興国同志会主事後藤静香氏の話を聴き、且御

会趣旨に賛同し県下各地の同志中より各種の催を行ひ、純情による寄附金を受け同胞の家一棟を建設し、県下北宇和郡□村の患者の方々の住居にせんとの予定なりしも、既に光田園長の御努力により入園せられしと聞き、一棟建設には不足なるも他の寄附と合して適当に使用せられんと、別項の通り寄附申出候也

追而右金員は振替大阪七二八六三番へ払込

寄附者芳名

一金壹百五拾円也 東宇和郡多田村 小倉儔殿

長女倫子様死去追善のため特別寄附

一金六拾九円拾五銭 北宇和郡吉田町 谷本久雄殿

北宇和東宇和各地にて癩病根絶大会開催の利益金

一金四拾銭 喜多郡上須戒村癩病根絶大会寄附金（以下町

村とあるは前同断）

一金貳拾銭 同郡新谷村

一金壹円 喜多郡上須戒村小学校

一金拾四円八拾六銭 喜多郡大和村

一金六円拾六銭 喜多郡長浜町婦人会

一金七円七拾六銭 同郡三善村

一金六円四拾八銭 同郡粟津村

一金貳円四拾七銭 同郡喜多灘村

一金貳円七拾貳銭 同郡白滝村

一金四円四拾銭 同郡出海村

一金参円也 同郡内子町 玉田俊正殿

一金参円参拾銭 同郡大和村 菊池衣江殿

一金五円也 喜多郡大洲村 □館殿

一金参円也 同郡櫛生村

一金四円九拾壹銭五厘 同郡内子町

一金壹円拾銭 同郡菅田村

一金壹円五拾銭 同郡五城村 中井モト工殿

一金四拾銭 松山市喜与町 和久澄殿

合計貳百八拾七円八拾壹銭五厘

諸雑費通信費等合計

一金参拾参円九拾参銭

差引寄附額

一金貳百五拾参円八拾八銭五厘

追加

一金五円也 西宇和郡川之石町東紡社宅婦人支部

代表 田原郁子殿

内通信費三銭差引四円九十七銭

結局差引寄附額

一金弐百五拾八円八拾五錢五厘

## 二七二 烏城婦人寮の命名

(愛生園蔵「十坪住宅寄附関係書」昭和9年)

岡山市連合婦人会寄附

寄附目録

一金五百七拾円也

右ハ皇太后陛下ノ御思召ヲ奉戴シ、六月二十五日ノ御誕辰日ヲ期シ、十坪住宅建設釀金トシテ寄附募集致シタルモノニ有之候条、御受納相成度候

昭和九年七月二十五日

岡山市連合婦人会理事長 西森 元

『烏城婦人寮』ト命名方申出

会長<sup>㊦</sup> 副会長<sup>㊦</sup> 幹事<sup>㊦</sup>

拝啓 過般の風水害に關しては早々御見舞状を辱ふし誠に難有御厚礼申上候、早速御礼状差出すべき筈の処、延引に相成誠に失礼致居り候共、亦々御芳書を頂戴致居の十坪住宅命名之儀に關しても、延引相成色々御差支を相掛け居りの処、右

は左記の通り取極めの可御了承相願、亦延引の段御詫びを兼ね御通知送如斯御座候

敬具

十一月二十七日

岡山市連合婦人会理事長

西森 元

長島愛生園長

光田健輔殿

命名 烏城婦人寮

## 二七三 岡山県済世委員からの寄贈

(「中国民報」昭和10年11月28日)

注目されてゐる

長島愛生園へ住宅を寄贈

済世委員から

去る五日岡山市公会堂に開かれた岡山県下済世委員、顧問合同大会を記念して、何か県下の社会事業に寄与する記念事業の計画を考慮してゐる折柄、二十七日日本赤十字社岡山支部楼上に開かれた第二回済世継続委員会で、同記念事業として長島愛生園に十坪住宅を寄贈することに決定、これが経費と

して全済世委員、顧問から五十錢づゝを醸出せしめることとし、近く準備に取りかゝることになつた

二七四 邑久郡町村会からの住宅資金寄附

(愛生園蔵「十坪住宅寄附関係書」昭和11年)

十坪住宅資金寄附ノ件

拝啓 実ハ小生推参御邪魔致スベク筈ニ候へ共、不敢取書面ヲ以テ御相談申上候儀ハ、本日郡町村長会ニ於テ協議有之候邑久郡町村長会ヨリ愛生園十坪住宅寄附ニ付キ、予テ財源トシテ県済世会ヨリ町村長会へ、特殊ニ交附サレタル金額四百三十余円ニシテ、住宅建築費五百円ノ予算ニ対シ六十幾円ヲ不足スル次第、此不足ヲ補顛セズシテ交付金四百三十余円ニテハ實際建築不可能ニ候ヤ、又此額ヲ以テシテ表面十坪住宅寄付ノ名ノ下ニ採納成り兼ね候ヤ、全体会長ヨリ御相談申上ゲル順序ニ有之候モ、地元便宜小生ニ園ノ内意伺ヒ置キ呉ル、様仰セ付カリ候次第 尤モ会議ノ内容ヲ申上候へバ、僅カ補足金モ之レガ支出ノ方法ニ付テハ一部ニ異論モ有之以テ、到底不可能ノ事ニ察セラレ候、要スルニ園ノ御方針ハ兎モ角、町村長会ノ申出ニ御同意下サレ候ハバ結構ニ存ジ候、御内報ヲ俟チ更ニ会長御邪魔仕ルベク候モ、可成申出ノママ御採納

宜シカラズヤト乍失礼愚見申入候、右貴意ヲ得度頓首

十月九日

長島愛生園長殿

同 事務官殿

裳掛村長 金塚健太郎

二七五 済世会からの救護

(瀬戸内市蔵「済世」第六四号 昭和11年2月1日)

我々の手で

癩患者を救はう!

・・・との叫びは昨秋の済世事業大会出席の某委員の口から叫ばれた声である。そして其の後、具体的方法に就て審議中であつたが、済世事業継続委員会に於て左記の方法に依つて県下二千八百の顧問、委員の義心に訴へ、其の救護の一端に乗り出すことゝなつた。済世顧問、済世委員は洩れなく温い同情を寄せらるゝ、様切望に堪えない。

記

- 一、金額 済世顧問、済世委員一人金五十錢宛
- 二、送附方法 二月末日迄に県社会課宛送附すること
- 三、処分方法 総額約千四百円を折半して長島愛生園及大

島療養所に贈呈し、双方に十坪住宅一棟を建築し之を「濟世寮」と命名すること

(参考)

長島愛生園

所在地 邑久郡裳掛村大字虫明

収容定員 八九〇名、現在収容数一、一三二名、内

岡山県に本籍を有する者四六名

大島療養所

所在地 香川県木田郡庵治村大島

収容定員 五〇〇名、現在収容数六三六名、内岡山

県三三名

## 二七六 濟世寮の建設

(瀬戸内市蔵「濟世」第六九号 昭和11年7月1日)

長島愛生園に『濟世寮』を贈る

客秋十一月開催の県下濟世事業大会に於て、出席者中より提案された長島愛生園及大島療養所へ義金を贈らうとの計画は、先般来県に於て取纏中であつたが七百余円集まつたので、其の内五百五十円だけ長島愛生園に贈らうとの計画は、前々号の本紙所報の通りであるが、募集に応じて三十二名の方が

長島を訪ね、右の義金を贈呈し『濟世寮』建設方を依頼すると共に親しく患者を慰問した。尚県からは中村主事同行し、園内のマイクを通じて全患者に親しく慰問の詞を述べ多大の感銘を与へた。因に右の義金はその後引続き集まりつゝあり、只今九百五十一円三十銭(六月末日現在)を数へてゐる。(写真は長島愛生園訪問の一行)

出席者には此の写真を愛生園から贈られました。二銭切手を社会課へ御送り下さい。

[写真 略]

## 二七七 濟世寮の建設寄贈報告

(瀬戸内市蔵「濟世」第七四号 昭和11年12月1日)

「濟世寮」建設費寄贈報告

癩患者収容所として長島愛生園及大島癩療養所に十坪住宅「濟世寮」を寄贈することとなり、長島愛生園には今春送附した事は既報の通りであるが、大島療養所には今般送附した内訳次の通り。

一、一二二円八八銭 義金総額

(但し内五円五十八銭は預金利子)

七円二四銭 通信費

一、一二五円六四銭 差引残額  
 五六七円八二銭 両療養所に送附

二七八 倉敷濟世委員会よりの寄附

〔中国民報〕昭和11年2月9日

愛生園等へ十坪住宅を寄附

倉敷濟世委員会

倉敷市濟世委員月例協議会を、八日午後七時より市役所会議室で開催

濟世顧問原澄治氏外委員四十四名出席し、市より黒崎助役、梶谷課長、井上書記臨席して新任濟世委員の紹介、旧年末救済状況の報告があつて協議にうつり、恩賜財団濟生会診療券による医療の件、小学校卒業生の就職調査および斡旋に関する件、県濟世会の発案になる愛生園および大島療養所に十坪住宅を寄贈する案に賛成

二七九 岡山県濟世会からの住宅費贈呈

〔中国民報〕昭和11年5月19日

愛生園へ十坪住宅費を贈呈

濟世会から

岡山県濟世会では濟世記念日をほくとして、愛生園に十坪住宅建設費（濟世寮一棟分）の贈呈並に慰問のため、県社会事業主事村孝太郎氏は県下濟世顧問代表三十二名を引率して十八日午前十時同園到着、光田園長に面会してその意を呈した  
 なほ一行は園内を巡り慰問して、折柄同日より四日間園内野球場に於て挙行されてゐる入園者各チームの野球リーグ戦を觀覽し、午後四時発帰還した

二八〇 東本願寺の五千戸寄贈運動

〔中国民報〕昭和11年5月24日

愛生園へ十坪住宅五千戸寄贈

東本願寺光明会の救癩運動 一万の寺院を勧誘  
 癩の絶滅と予防を生命として生れ、現患者の最も良き伴侶として精神的、物質的に大いに躍動して居る団体、真宗大谷派東本願寺内光明会では、先に愛生園に納骨塔を寄贈、其他宗教に依る慰問の働きは大したものであるが、同園物故者春季慰霊祭に訪問した、同会初代社会課長現理事武内了温師は、岡山県宗教界各宗務所における種々な施設の寄贈状況及び其他各地各種団体、個人等の是に対する動きを目撃して感激即日帰還したが、此程全国約一万の抱へ寺に檄を飛ばして、同

宗で二箇寺一棟宛約五千戸の十坪住宅を建設寄贈することを立案し、而も之が至難でないとの確信を得たので、大谷智子裏方に諮り目下具体的に進行して居る、なほ全国収容患者の信教別調査に依れば、真宗が筆頭で三五%、真言、基督教等が之れに次いで居る

三井家でも政府に於て経常費支出の見込さへ立てば、全国に散在する未収容患者のため五百万円を投げ出す覚悟がある事を発表して居るので、無癩日本実現も案外近い将来であらう

四谷事務官談 東本願寺さんの分は一歩くであり、三井家のは政府の腹次第で一挙に完全収容が出来る訳で、何れにしても結構な事であるが、十坪住宅は文化村の感があり家族的であるので、隔離と云ふが如き観念は全然一掃される為、進んで入園を希望するようになり非常の好結果を挙げつゝあります。将来は住宅式を採用の方針で、御覧の通り家から家への道路も完成し、乗用自動車の特志寄贈も受け、世界に誇り得る療養所になりましたが、只今の処ガレージの経費約二百円の出処に困つてをります、此の由貴紙を通じて特志家にお伝へ下さい

## 二八一 日蓮宗寺院からの住宅寄贈

〔中国民報〕昭和11年6月18日

愛生園へ十坪住宅寄贈

日蓮宗寺院から

岡山市上伊福妙林寺ほか県下日蓮宗四十七箇寺住職並に信徒が、団扇太鼓を打ち鳴らし寒行その他の苦難を嘗めて醸出した金が五百円、9千万国民の犠牲となつて此の世を避け、孤島に余生を送る癩患者の為に十坪住宅（法幕寮）一棟を、十六日代表者前記妙林寺住職杉本栄寿氏より、県学務部社会課を通じて長島愛生園に寄贈した

なほ県下に於て、真言宗では余程以前から此の種寄贈は行はれてゐるが、日蓮宗の是に対する認識の物質的進出は之を以て嚆矢とする

## 二八二 邑久教育会からの住宅寄附

〔合同新聞〕昭和11年12月29日

十坪住宅寄附

邑久教育会

郡教育会では、会員の給料を少し宛きいて三ヶ月間醸金し、過般愛生園に十坪住宅一棟寄贈を申し出てゐたが、二十六日

午後一時奥田会長以下幹部同園に患者を慰問し、該住宅一棟分の金額を贈呈した

二八三 奈良県からの住宅建設資金寄附

(愛生園蔵「十坪住宅寄附金関係書」昭和12年)

十坪住宅建設資金送付之件

社会第八七八号ノ一

昭和十二年八月十二日

奈良県学務課長印

長島愛生園長殿

十坪住宅建設資金送付之件

先般皇太后陛下近畿行啓ヲ機会ニ、県下女子中等学校長会ノ主唱ニ依リ、生徒間ニ標記資金募集候処別記ノ通相纏リ候ニ付、別紙銀行小切手ヲ以テ送付候条、御查收相成度

尚今後本県患者収容ニ際シ一層御配慮相煩度

追而出捐者ニ対スル謝意表示方ニ付テハ、可然御取計相成

度申添候

記

金六百九拾八円六拾七銭也

金額 出捐者

一九円五〇	磯城郡桜井町	桜井実科女学校職員生徒一同
一〇〇〇	添上郡樺本町	樺本実科女学校 同
一〇〇〇	生駒郡郡山町	郡山高等女学校 同
一一九五	北葛城郡新庄町	新庄実科女学校 同
五〇〇〇	奈良市	育英高等女学校 同
四六四〇	吉野郡大淀町	吉野高等女学校 同
五三〇〇	山辺郡丹波市町	山辺実科女学校 同
八〇一一	磯城郡桜井町	桜井高等女学校 同
一〇三七	奈良市	奈良女子師範学校 同
七二〇〇	山辺郡二階堂村	二階堂実科女学校 同
四七一〇	奈良市奈良女子高等師範学校附属高女第一部生徒一同	
三三一二	奈良市奈良中学校	職員生徒一同
八一二六	北葛城郡高田町	高田高等女学校 同
四一五〇	宇智郡五条町	五条高等女学校 同
二〇〇〇	北葛城郡高田町	高田高等女学校如蘭学園生徒一同
五〇〇〇	生駒郡北倭村	北倭女子実業学校 職員生徒一同
五一〇〇	磯城郡田原本町	田原本実科女学校 同
四〇〇〇	山辺郡丹波市町	天理高等女学校 同
三〇〇〇	南葛城郡御所町	御所高等女学校 同
一五〇〇	北葛城郡高田町	高田実科女学校 同

五 〇〇 神奈川県学務部長 中原啓造

乱筆にて恐惶頓首

二 〇〇 宇陀郡 宇陀高等女学校長 薄葉義治

菅 慎平

一 〇〇 奈良女高師教授 越智チヨ

光田園長殿

一 〇〇 吉野郡下市町下市 安田行蔵

一 〇〇 有志ヨリ

二伸 母の意向にては家を一軒建て菅の家と度写申述居り候

一 〇〇 吉野郡 賀名生小学校内 小川ナミ

……………

八六 一時預金利子

昭和十三年二月二日

主任 印

二八四 新聞社寄託の住宅寄附

(愛生園蔵「十坪住宅寄附金関係書」昭和13年)

会長 園長 印

副会長 庶務課長 印

園長 印 庶務課長 印

案ノ一

謹啓

会長名

寒気凜烈ノ候皆様御健康祝福仕候、陳者母輝子死去に際しては種々御高配深謝仕候、就而母生前中病床にて小生に遺言為愛生園に金壺阡円也の寄贈に御座候、一度御面会の上とは存候共、何分小生朝鮮の方に開業の身にて長期の滞在不能に付き、本日合同新聞を通し託金仕候事不悪御受納被下度願上候後日小生寸暇を得候は、御面会致し、母の家も見学致度存居候

株式会社合同新聞社宛  
十坪住宅寄附金ニ関スル件  
岡山市小橋町四十番地菅慎平氏ヨリ、御寄附ニ係ル標記寄附金御送付相成候処、正に領収仕候条、別紙領収証及送付候、尚寄附者ニ対シテハ別便ヲ以テ礼状差出置候条申添候  
(別紙領収証同封送付ノ事)  
案ノ二  
拝復 先般御書面を以て御通報相成候十坪住宅建設の為御寄

右略儀乍ら書状を以て御通知申上候也

附被下候金壹千円也、本日合同新聞社より御送付相成、正に  
拝受仕候条御了知相成度候

就ては一日も速に住宅建設の上御希望に可添申

尚右住宅の名称は御来示の通「菅の家」と命名可致候

先は右御礼傍々御通知申上仕候

拜具

月 日

岡山市小橋町四〇

菅 慎平宛

(受領証写)

受領証

一金 壹 千 円 也

但、菅 慎平殿御寄附金

右金額正ニ受領候也

昭和十三年二月二日

財団法人長島愛生園慰安会長光田健輔

株式会社合同新聞社御中

送付書

金壹千円

寄託者 岡山市小橋町四〇

菅 慎平殿

(御親母御遺言ニヨリ本社ニ御寄託)

右御送付申上候也

昭和拾参年式月壹日

岡山市東中山下四拾番地

長島愛生園長殿

株式会社合同新聞社印

二八五 『小島の春』読者からの送金

(愛生園蔵「十坪住宅寄附金関係書」昭和14年)

拜啓

私は「小島の春」を読み感激した一青年職工であります。世の人の嫌ふ癩病が西国にあまりにも多いのに驚くと共に、先生のお働には感謝致しました。

私の住む土地にも癩病の人が居ます。その家の前を通る時には呼吸を止めて駈歩をして通ります。誰でもそうです。或る日この癩の人が生活の為八百屋行商をしてゐる、そして知らない人は買って平気であると聞いてぞうつとしました。私は早くこうゆう人を、可愛そうですけどどこかへ離して戴きたいと思つています。

私は来年徴兵検査です。必ず甲種合格します。そして国防の

第一線へ身命を捨て、先生に負けずに働きます。同封の為替  
何かに使つて下さい。

お体を大切に

さようなら

K・K

先生へ

会長<sup>印</sup> 副会長<sup>印</sup> 書記<sup>印</sup>

礼状発送済

東京市杉並区□□□□

.....

光田長島愛生園長殿

拝啓 小生長崎書店御刊行の小川正子女史著「小島の春」を  
読みまして、世にも哀れなる病者を暖い愛の手を伸ばしてお  
救いになっておられる皆様に対して、深い感謝と尊敬の念を  
禁じ得ないものでございます。

ヨーロッパの或国に於ては、既に此病のもとを絶つて居るも  
のすらあるという事をき、まして、無智な我国の病者、その  
周囲の人々、いやもつと広く国民に此の病に対する智識を  
授け、一日も早く病に苦しむ人を救ひ、此の病を根絶致した  
いと考へる者であります。

土井晚翠氏の御子息だったと思ひますが、此の病を救ふ為に

愛国切手を発行すべく御尽力なされ、今一步といふ所でなく  
なられたといふ事を雑誌で読みましたが、その後一向素の様  
な話をき、ませんが誠に惜しい事と存じます。然し国家の為、  
国民の為、必ずや国民一致して此の病を根絶いたす日は来る  
と存じます。

先生には長らくの間御苦勞に存じます。いくら国家が金を出  
しても、世話する人達が無かったらそれこそ何にもならぬと  
存じます。

先般、新聞にて国家が先生の功勞を御認になり、特別に法規  
を改め待遇を善くせられたる事を拝見いたしました。先生の  
為にお喜び申上げます。

甚だ些少では御座いますが、私の小遣を貯めましたもの何か  
のお役にたてば幸甚と存じます。

地位も名誉も財産もすべてをお捨てになつて働かれる皆様  
と、病者の上に神の御榮のあります様お祈り申上げます。  
御健康に御留意下さい。 敬具

昭和拾四年四月十日

甚だ失礼ながら匿名をお許し下さい。

会長<sup>印</sup> 書記<sup>印</sup>

要再回

二八六 三重県寮の建設

(愛生園蔵「十坪住宅寄附金関係書」昭和14年)

十坪住宅寄附二関スル件

衛収第四三八七号

昭和十四年三月十日

三重県知事印

裳掛村

国立癩療養所長殿

十坪住宅建設費寄附二関スル件

三重県津市西新町

三重県癩病根絶期成同盟会

代表理事 清水誠吾

三重県知事殿

右者ヨリ別紙ノ通、金五百円也ヲ十坪住宅三重寮建設費トシテ寄附願出ニ付、御採納相成度候

追テ御採納決定御通知アリ次第、何時ニテモ現金送付セシムベク候

寄附願

一、金五百円也

但、十坪住宅第二三重寮建設費

右之通寄附致度候ニ付、可然建設相成度様御取計相成度、此段奉願上候也

昭和十四年三月三日

三重県癩病根絶期成同盟会

代表理事 清水誠吾

三重県知事 小河正儀殿

昭和十四年三月十四日

要再回

主任印

会長 園長印 副会長 庶務課長印

案

会長

十坪住宅建設費寄附二関スル件回答

本日十日衛収第四三八七号ノ一ヲ以テ、長島愛生園長宛御照介相成候標記ノ件了承、右ハ難有受納致度候条、可然御取計相成度候、尚現在ニ於ケル十坪住宅一棟ノ建設費は、七百五拾円ヲ要スル次第ニ有之候ニ付為念申添候

衛収第六三六八号ノ一

昭和十四年四月十二日

三重県 警察部長印

国立療養所

長島愛生園長殿

三重寮建設費ノ寄附ニ関スル件

津市西新町

三重県癩病根絶期成同盟会

右ノ者ヨリ第二三重寮建築費トシテ、金五百円也ヲ園費ニ寄附願出ニ付、別紙及送金候条可然御取計相煩度御依頼候也  
追而御査収ノ上ハ、寄附者宛領収書御回送相煩度申添候

二八七 龍谷大学専門部の救癩部隊

(愛生園蔵「十坪住宅寄附金関係書」昭和14年)

救癩部隊出動!

捧ぐる拾銭癩者の光り

私達は今夏国立癩療養所長島愛生園を見学し、その実に救癩の聖地たるに深く感銘したものであります。

此の癩者の生活は十月発行の龍大新聞所載の記事で、諸兄

の印象新たになること、思ひます。然るに今日全国療養所に収容されず、暗黒に哭く病者は猶一万五千、而も療養所の狭隘は、既に定員の極を越え、之等病者を黙視の外なき窮状であります。茲に愛生園では此の打開策として十坪住宅建設運動を提唱してをります。該運動は一棟十坪六畳二間の簡易住宅を、民間の寄附を資金として建設し、之に四名乃至八名の病者を収容せんとするもので、一棟建設の費用は六百円、故に若し六千人が一口拾銭を投ずれば、数名の病者を救ひ、同時に社会より癩伝染の危険を減じ得る訳であります。

諸兄は恐らく「いのちの初夜」「白描」「小島の春」等の優れた癩文学を読んでをられる事とせう。そしてそれから受けられた感銘は、決して浅くはなかつた事と思ひます。然し思ふに私達が青年仏教徒である限り、此の関心はさらに救癩の實踐に迄高められなければ、私達は真に「いのちの初夜」を、「白描」を、「小島の春」を読んだとは云ひ得ないのではないだらうか。而してその實踐は十坪住宅運動に拾銭を投ずる事によつて果される。

銃後青年仏教徒の生命は一に實踐にあります。是に私達は愛生園の依頼を受けたものではないが、進んで祖国浄化の意義深き、—殊に今次聖戦中大陸において罹病帰還せられし多

数の勇士あることを想起しつゝ、救癩聖業の果遂すべく、左の概則の下に十坪住宅建設運動を提唱し、以て銃後強化の實を挙ぐると共に、如来大悲の恩致を謝せんとするものであります。願はくは諸兄の力強き理解と援助とを賜はらんことを

一、此の運動を「拾銭救癩」と名づけ、一口拾銭以上十坪住宅建設の資金の寄附を仰ぎます。

- 一、範囲は学内に限り、二学期末を以て第一期を封じます。
- 一、此の運動の主体を「救癩部隊」と称します。
- 一、本運動の経費は自弁とし、右の醸金からは支出しません。
- 一、寄附は左記二名に直接手交下さるか、若くは級の講演部員にをことづけ下さい。

専門部二年三組

衣川法海

松林宗恵

〔欄外〕  
「之ハ学生間ニ頻分セル檄文デ御座イマス。」

二八八 愛生園における十坪住宅寄附状況

(池内謙次郎氏蔵「愛生園における十坪住宅寄附状況」昭和35年)

昭和9年	昭和8年	昭和7年	住 宅 名	件数
<p>移山寮 (上山万之進氏寄附、初め現在の光明園ガード附近に建て、昭和11年4月10日現在位置に移築)、<b>第1天理寮</b> (天理教中山正善氏)、<b>熱田寮</b> (愛知県人某氏)、<b>曙寮</b>、<b>新生寮</b> (小口寄附を寄せ集めて2棟の舎として竣工)、<b>吉祥寮</b>、<b>祥雲寮</b> (大阪の某氏)、<b>第2兵庫寮</b> (兵庫県癩病根絶期成同盟会)、<b>凶南寮</b> (東京某氏)、<b>碧海寮</b> (入園者)、<b>莫哀寮</b> (主婦之友愛読者、園内では石井漠氏といわれている)、<b>第1一握寮</b> (邑久、上道の女子青年団員が米一握りずつ持ちよ</p>	<p><b>第2友之家</b> (婦人之友社)、<b>母の家</b> (菅輝子氏)、<b>後楽園</b> (岡山県庁職員)、<b>一心寮</b> (毛利家より寄附。毛利家訓の中の「百万一心」により名づけた)、<b>第5千代田寮</b> (宮内省職員有志)、<b>第1飾磨寮</b> (平野亀之助氏)、<b>学研寮</b> (倉敷労働科学研究所々員有志)、<b>神女寮</b> (神戸女学院G、Rクラブ)、<b>東雲寮</b> (京都聖書研究会)、<b>金剛寮</b> (入園者)、<b>真愛寮</b> (日本、MTL)</p>	<p><b>慈岡寮</b> (岡山県婦人慈善会)、<b>第1友の家</b> (婦人之友社)、<b>第1千代田寮</b>、<b>第2千代田寮</b>、<b>第3千代田寮</b>、<b>第4千代田寮</b> (宮内省職員有志)、<b>難波寮</b> (大阪毎日新聞社慈善団)、<b>第1兵庫寮</b> (兵庫県癩病根絶期成同盟会)</p>		14
	11	8		

<p>昭和11年</p>	<p>昭和10年</p>
<p>百万寮（山口県衛生課、毛利家からともいわれている）、桃源寮（桃谷順天堂、桃谷順一氏）、第4兵庫寮（兵庫県癩病根絶期成同盟会）、忠</p>	<p>つて寄附された）、平安寮（京都キリスト教婦人団体）、第2楓陰寮（愛生保育所のこと）</p> <p>第6千代田寮（宮内省職員有志）、昭和9年建築の移山寮横にあつたのを後現在地に移築、子供の家（財団法人日曜学校協会、香港寮のこと、香港在留日本人会ともいわれている）、錫の寮（錫半慈正会）、光寮（財団法人光之村代表岡崎氏）、愛岡寮（愛岡婦人会岡山県支部）、鳥城寮（岡山市聯合婦人会）、第2飾磨寮（平野亀之助氏）、第3兵庫寮（兵庫県癩病根絶期成同盟会）、常磐寮（入園者）、阪研寮（大阪皮膚病研究所）、第1愛知県（愛知方面委員聯盟）、尾道婦人寮（尾道特志婦人会）、遍路寮（下村海南、飯島幡司両氏）、鯨南寮（名古屋市南区衛生組合）、布哇寮（ホノルル、YMCA）、第1報恩寮、第2報恩寮（財団法人三井報恩会）、暁寮（馬本阿貴氏）、日赤寮（日本赤十字社）、第1協会寮（財団法人癩予防協会、官舎地帯にある）、遍照寮（岡山県古義真言宗）、第2天理寮（天理教中山正善氏）、第1高衛寮（高知県衛生部）、福田寮、青山寮（入園者）、第2一握寮（和気郡聯合青年団）、第1愛衛寮（愛知県衛生組合聯合会）、愛婦寮（愛国婦人会愛知県支部）</p>
	<p>28</p>

<p>昭和13年</p>	<p>昭和12年</p>
<p>第1崇信寮（財団法人崇信報恩会）、大空寮、日東寮、八鶴寮（入園者）、岡崎婦人寮（愛知県愛国婦人会岡崎市分会）、第5兵庫寮（兵庫</p>	<p>美寮（平井忠美氏）、真望寮（日本MTL）、中島葉栗寮（愛知県尾西聯合方面委員聯盟中島、葉栗郡支部）、濟世寮（岡山県濟世委員会）、第1赤磐寮（赤磐郡女子青年団）、丹羽寮（愛知県尾西聯合方面委員聯盟丹羽郡支部）、第2愛知寮（愛知方面委員聯盟）、澄水寮（原澄治氏）、山陽高女寮（山陽高等女学校）、女医寮（日本女医会）、備前立正寮（備前日蓮宗寺院）、秀英寮（奥田秀太郎氏）、和光寮、更正寮、芳梅寮（入園者）、海部寮（愛知県尾西聯合方面委員聯盟海部支部）、一宮寮（愛知県尾西聯合方面委員聯盟一宮支部）、邑久育成寮（邑久郡教育会）</p> <p>恩賜寮（貞明皇后御下賜）、梅香寮（東伏見家）、第1花の家、第2花の家（家庭購買組合婦人会）、白兔寮（鳥取県癩予防協会）、第2協会寮（財団法人癩予防協会）、壹円寮（京城帝国大学医学部有志）、薫風寮（米山円藏氏）、徳島路太利寮（徳島ロータリークラブ）、徳島大宣都寮（徳島県下女子中等学校）、七仏寮（第7回仏教大会）、第1松本寮、第2松本寮（松本久子氏、現在ホータイ巻場及び小集会所）、中関寮（山口県中之関町々会、官舎地区にある）、名西寮（入園者）</p>
	<p>15</p> <p>21</p>

昭和18年	昭和17年	昭和16年	昭和15年	昭和14年	
昭和寮（入園者）、豊橋寮（愛知県第3方面委員連盟）、真理寮（全日本真理運動本部）、竜谷寮（竜谷大学生有志）、静喜寮（五島喜久郎氏）、	町村長会 昭和寮（入園者）、豊橋寮（愛知県第3方面委員連盟）、真理寮（全日本真理運動本部）、竜谷寮（竜谷大学生有志）、静喜寮（五島喜久郎氏）、	住友病棟（住友家から、大阪府庁を介して）、真昌寮（今村力三郎氏）	鳥城寮（入園者）、第2三重寮（三重県癩病根絶期成同盟会）、松寿寮（松本千代氏）	第3天理寮（天理教）、妙順寮（辻善之助氏）、定郎寮（町田耕三郎氏）、第1三重寮（三重県癩病根絶期成同盟会）、菅の寮（菅慎平氏）	県癩病根絶期成同盟会）、立田寮（第2鳥取寮）、大仙寮、桂誠寮（財団法人鳥取県癩予防協会）、第3松本寮（松本千代氏）、寧楽寮（奈良県下各女子中等学校）、西大寺鉄道寮（西大寺鉄道）、防長寮、下関寮（山口県癩病根絶期成同盟会）、光明寮（真宗大谷派光明会）、鳥取寮（面会宿泊所、鳥取県癩予防協会）
	15	2	3	5	16

昭和30年	昭和25年	昭和24年	昭和22年	昭和19年	
中四国寮（中国5県、四国4県の共同募金に依り建てられた、重症者室）	光の家（共同募金）	曙教会（キリスト新教々徒礼拝堂）	大師堂（真言宗徒礼拝堂）	増築 第3飾磨寮（現愛生学園、財団法人三井報恩会）	第2忠美寮（平井忠美氏）、第2吉祥寮（吉田長祥氏）、小室寮（小室かね子氏）、啓明寮（吉益隆三郎氏）、芳津寮（大川親彦氏）、希望寮（岩瀬博之氏）、第2崇信寮（財団法人崇信報恩会）、第1相愛寮（入園者）
1	1	1	1	1	13

※十坪住宅運動棟数一五一棟。総坪数、三、五四九、〇五三坪。十坪住宅寄付者名は（光田前園長メモ）十坪住宅由来記に依ったものです。  
 ※この表の建築年次は、官公庁会計年度別ではなく、一月一日より十二月三十一日までです。  
 ※日付は総て竣工した年です。